



岡山県古代吉備文化財センター

Okayama Prefectural Ancient Kibi Cultural Properties Center

年 報 3

Annual report 3

< 令和5年度 >

2024年

岡山県古代吉備文化財センター

序

岡山県の埋蔵文化財行政の本格的体制整備は、昭和42年に山陽新幹線建設に伴う記録保存調査に対応することを目的として、社会教育課に専門職員を配置したことがその先駆けとなりました。その後、急増する大規模開発に伴い、昭和51年に発掘調査の拠点として設置された文化課分室を経て、昭和59年11月に岡山県古代吉備文化財センターが、県内の埋蔵文化財の保護と活用を図る拠点施設として開所されました。以降、センターは試掘確認調査と記録保存調査の実施、調査記録と出土品の収蔵管理、公開活用事業を担い、現在に至ります。

こうしたセンターが果たす役割と責務を広く周知するため、県の埋蔵文化財の保護保存・公開と活用の記録として、実施した諸事業をまとめたものが本年報です。

令和5年度は試掘確認調査として6事業を、記録保存調査として4事業を実施しました。併せて、5事業について報告書作成を行い、このうち3事業について、その成果を3冊の報告書として刊行することができました。また「吉備路の歴史遺産」魅力発信事業の一環で、保存活用総合調査として史跡備中国分尼寺跡の発掘調査と報告書整理も実施しています。

公開活用事業として講座、講演会、報告会などを実施し、延べ7,209名もの皆様に御参加いただきました。また、5遺跡について発掘調査の現地説明会を実施し、その成果を地域・県民の皆様に紹介しました。

こうしてセンターの事業を円滑に進める事ができましたのも、様々に支援いただいた、地域の皆様をはじめとする多くの方々のお力添えあってのことと感謝申し上げます。

本書が、地域史の解明や研究に広く寄与し、今後の取り組みへの道標となるとともに、埋蔵文化財保護のための資料となり、文化財保護意識の高揚へと繋がることを切に願います。

令和6年10月18日

岡山県古代吉備文化財センター

所長 奥山修司

例 言

- 1 本書は、岡山県古代吉備文化財センターが令和5年度に実施した事業の概要報告である。
- 2 本文中、「調査位置図」等の地形図には、国土交通省国土地理院発行の1/25,000地形図を複製及び加筆して使用している。
- 3 本書の執筆は各担当者が分担し、文末に示した。編集は調査第一課第一班が担当した。

目 次

序

例 言

目 次

第1章 施設の概要	1
第2章 埋蔵文化財保護行政組織	3
第3章 事業の概要	5
第1節 発掘調査事業	5
(1) 国庫補助事業	5
(2) 県関係事業	5
(3) 国等機関関係事業	5
第2節 報告書作成・刊行事業	6
(1) 県関係事業	6
(2) 国等機関関係事業	6
第3節 資料の収蔵管理と保存処理	6
(1) 収蔵管理	6
(2) 遺物の保存処理	7
第4節 公開活用事業	8
(1) 講座・講演会・報告会	8
(2) 発掘調査現地説明会・現場見学等	9
(3) 体験学習等	10
(4) 展示	12
(5) 講師派遣	13
(6) 刊行物等	14
(7) 資料貸出・掲載許可・資料調査対応	15
(8) ホームページ・メールマガジン	19
(9) おかやま全県統合型GIS	19
第5節 教育支援事業	20
(1) センター施設・発掘調査現場見学	20
(2) 津島遺跡見学	20
(3) 職場体験・出前授業	21
第6節 市町村支援事業	22
(1) 村内遺跡保存活用総合調査に伴う智頭往来志戸坂峠越発掘調査・報告書作成	22
(2) 町道泉・田ヶ原線新築に伴う発掘調査	22

第7節	専門職員研修等	22
(1)	所内研修	22
(2)	埋蔵文化財担当職員研修会	22
(3)	埋蔵文化財保護行政基礎講座（岡山県版）受講	23
(4)	奈良文化財研究所文化財担当者研修受講	23
(5)	全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会研修会受講	23
第8節	調査指導会等	23
(1)	埋蔵文化財保護調査指導会	23
(2)	埋蔵文化財専門委員による現地指導	24
(3)	史跡備中国分尼寺跡ほか調査指導会	24
第9節	古代歴史文化に関する共同調査研究事業	25
第10節	労働安全衛生	25
(1)	安全衛生委員会	25
(2)	各種資格取得・受講	26
第11節	施設等の修繕	26
第12節	文化財保護法に基づく提出書類	27
(1)	史跡の現状変更許可申請（法第125条）	27
(2)	埋蔵文化財試掘確認調査の報告（法第99条）	27
(3)	埋蔵文化財発掘調査の報告（法第99条）	27
(4)	埋蔵文化財発見の通知（法第100条第2項）	28
第4章	調査の概要	29
第1節	試掘確認調査概要	29
(1)	広域河川改修事業（干田川）に伴う確認調査（向山遺跡）	29
(2)	道路整備事業（交通安全）に伴う確認調査（美作国分寺跡）	30
(3)	一般国道53号（津山南道路）改築工事に伴う試掘調査	31
(4)	通常砂防事業（カナザコ川）に伴う確認調査（至孝農遺跡）	32
(5)	県道園井里庄線地方道路整備事業道路改築に伴う試掘調査	33
(6)	一般国道374号（美作岡山道路）改築工事に伴う確認調査（滝谷川遺跡）	33
第2節	発掘調査概要	35
(1)	高梁川河川整備事業に伴う発掘調査（酒津遺跡）	35
(2)	一般国道53号（津山南道路）改築工事に伴う発掘調査（高尾宮ノ前遺跡）	37
(3)	広域河川改修事業（干田川）に伴う発掘調査（向山遺跡）	39
(4)	一般国道374号（美作岡山道路）改築工事に伴う発掘調査（宮坂遺跡）	40
第3節	「吉備路の歴史遺産」魅力発信事業	41

第1章 施設の概要

1 設 置 昭和 59 年 11 月 1 日（昭和 59 年 9 月 25 日岡山県条例第 28 号）

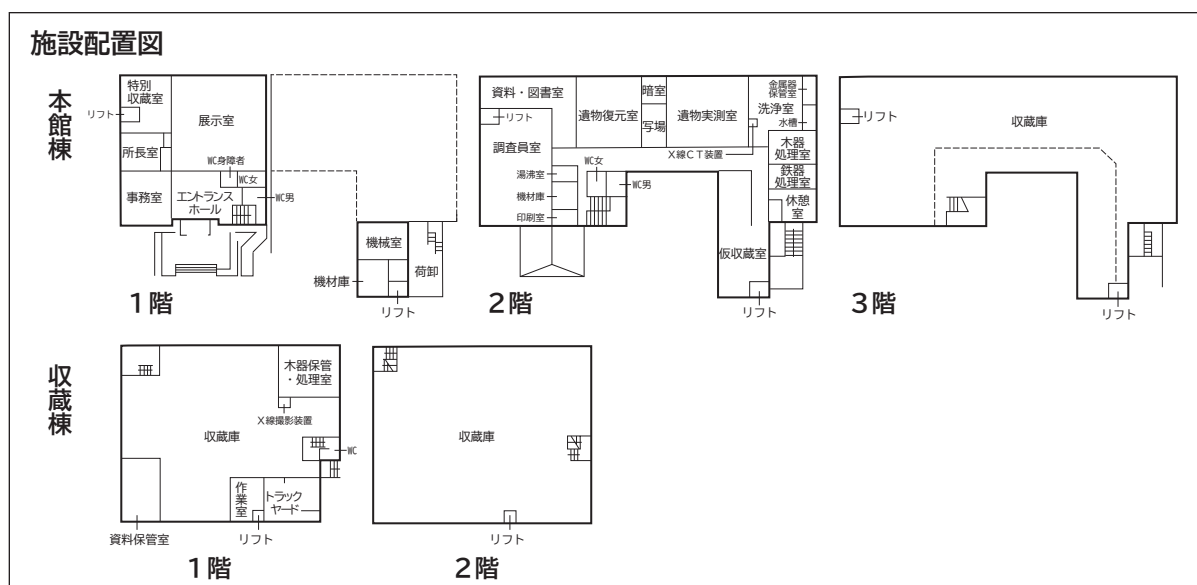
2 位 置 岡山県岡山市北区西花尻 1325-3

3 施設規模

敷 地 53,688㎡（センター敷地 52,738㎡ 三手収蔵庫敷地 950㎡）

建 物 4,925㎡

種別	室名	面積 (㎡)	種別	室名	面積 (㎡)		
本館棟	一階	エントランスホール	44	見 童 学 習 室	236		
		所 長 室	31		渡 り 廊 下	39	
		事 務 室	48		収 蔵 棟	地階	ポンプ室消防水槽
		展 示 室	177	一階		収 蔵 庫	601
		特別収蔵室	52			木器保管・処理室	70
		機 械 室	32			資料保管室	59
		そ の 他	82			作 業 室	37
		小 計	466			そ の 他	146
	二階	調 査 員 室	146	小 計		913	
		資 料 ・ 図 書 室	85	二階		収 蔵 庫	875
		遺物復元室	88			そ の 他	38
		写 真 室	35			小 計	913
		遺物実測室	116	合 計		1,849	
		洗 浄 室	84	三 手 収 蔵 庫		497	
		木器処理室	31	総 計		4,925	
		鉄器処理室	24				
		休 憩 室	23				
		仮 収 蔵 室	94				
	そ の 他	181					
	小 計	907					
	三階	収 蔵 庫	931				
合 計		2,304					



4 沿革

昭和59年11月	開所
平成4年7月	収蔵棟完成
平成6年11月	開所10周年記念行事
平成9年10月	ホームページ開設
平成16年4月	展示室の休日公開開始 遺跡地図情報システム公開
11月	開所20周年
平成17年3月	三手収蔵庫 (岡山市北区三手93-2)完成
平成26年9月	開所30周年記念シンポジウム開催



古代吉備文化財センター外観

5 条例

昭和五十九年九月二十五日
岡山県条例第二十八号

岡山県古代吉備文化財センター条例をここに公布する。

岡山県古代吉備文化財センター条例

(目的及び設置)

第一条 埋蔵文化財を保護するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和三十一年法律第六十二号）第三十条の規定により、岡山県古代吉備文化財センター（以下「文化財センター」という。）を岡山市に設置する。

(業務)

第二条 文化財センターは、前条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- 一 埋蔵文化財の調査及び研究に関すること。
- 二 発掘により出土した文化財（次号において「出土品」という。）の整理、保存及び活用に関すること。
- 三 埋蔵文化財の発掘調査並びに出土品の整理及び保存に係る指導及び助言に関すること。
- 四 埋蔵文化財についての知識の普及及び啓発に関すること。
- 五 前各号に掲げるもののほか、埋蔵文化財を保護するために必要な業務

(職員)

第三条 文化財センターに、所長その他必要な職員を置く。

(その他)

第四条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この条例は、昭和五十九年十一月一日から施行する。

第2章 埋蔵文化財保護行政組織

1 令和5年度の体制

岡山県教育委員会

教育長	鍵本 芳明
教育庁	
教育次長	國重 良樹
教育次長	田中 秀和

文化財課

課長	浜原 浩司
副課長	尾上 元規
埋蔵文化財班	
総括副参事 (班長)	河合 忍
主任 (文化財センター兼務)	藤井 翔平
主事	金田 涼

岡山県古代吉備文化財センター

所長	奥山 修司
次長	柴田 英樹
総括参事	高田恭一郎
総括参事	弘田 和司
総務課	
課長	福池 光修
副参事	絹輪 桂子
主任	中江 理恵
主任	西山祐太郎
主事	市本 潤

調査第二課

課長事務取扱	弘田 和司
第一班	
総括副参事 (班長)	小林 利晴
主事	藤井 雄一
主事	阿部 誠悟
第二班	
総括副参事 (班長)	米田 克彦
副参事	團 奈歩
主事	山口 香織
主事	西村 奏

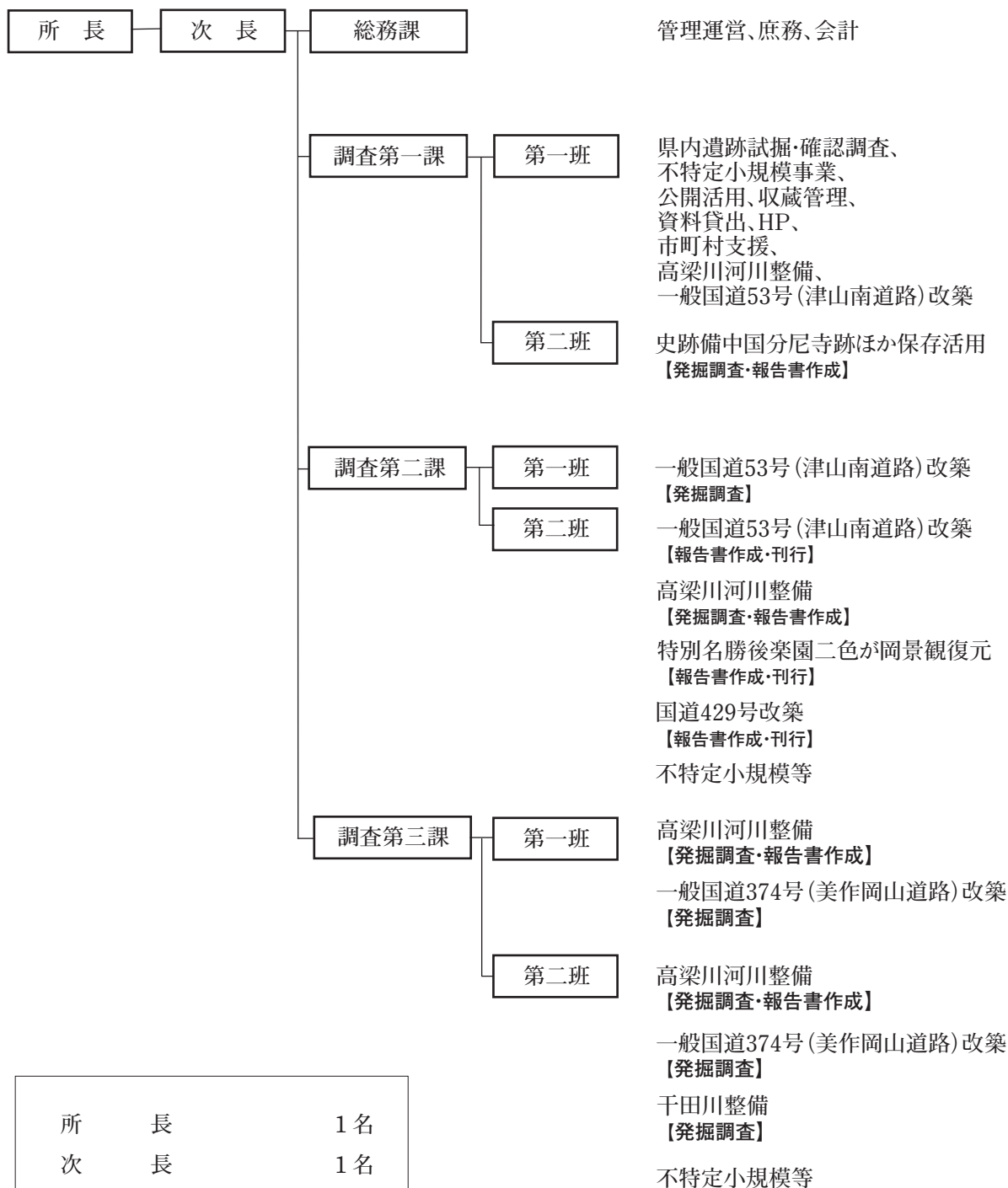
調査第一課

課長事務取扱	高田恭一郎
第一班	
総括副参事 (班長)	小嶋 善邦
主幹	和田 剛
主事	四田 寛人
主事	小林有紀子
第二班	
総括副参事 (班長)	松尾 佳子
主事	藤井 雅大 (～10月)
主事	平野 友梨
主事	瀬戸 悠輔 (10月～)

調査第三課

課長	澤山 孝之
第一班	
総括副参事 (班長)	物部 茂樹
副参事	岡本 泰典
主事	森本 蓮
第二班	
総括主幹 (班長)	石田 爲成
副参事	氏平 昭則
主事	岩橋 惇也 (総社市から派遣)
主事	杉浦香菜子

2 組織と業務



所長	1名
次長	1名
総務課職員	5名
調査課職員	24名
事務員	3名
事務補助員	2名
計	36名
(うち埋蔵文化財専門職員 25名)	

第3章 事業の概要

第1節 発掘調査事業

(1) 国庫補助事業

1 県内遺跡調査（試掘・確認調査）

開発事業者との連絡調整体制の整備を図るため、事前に開発事業予定地内の試掘・確認調査を行い、遺跡の範囲・内容等を把握し、遺跡を考慮した事業計画となるよう、保護保存に向けた基礎資料の作成を行った。

番号	原因事業	遺跡名等	調査面積	調査期間
1	広域河川改修事業(千田川)	向山遺跡 (瀬戸内市)	14㎡	令和5年5月15日～ 5月17日
2	道路整備事業(交通安全)	美作国分寺跡 (津山市)	35㎡	令和5年6月5日～ 6月9日
3	一般国道53号(津山南道路)改築工事	福田湯田遺跡 (津山市)	55㎡	令和5年6月19日～ 6月27日
4	通常砂防事業(カナザコ川)	至孝農遺跡 (鏡野町)	33㎡	令和5年7月10日～ 7月18日
5	県道園井里庄線地方道路整備事業道路改築	(笠岡市)	20㎡	令和5年12月19日～ 12月20日
6	一般国道374号(美作岡山道路)改築工事	滝谷川遺跡 (美咲町)	54㎡	令和6年1月15日～ 1月25日

2 史跡備中国分尼寺跡ほか保存活用総合調査

史跡備中国分尼寺跡ほかの総合的調査研究を実施し、その歴史的価値付けを行うとともに、吉備路の歴史遺産の魅力を発信し、保存と活用を図った。

番号	事業名	史跡名	調査面積	事業期間
1	史跡備中国分尼寺跡ほか保存活用総合調査	史跡備中国分尼寺跡 (総社市)	265㎡	令和5年4月3日～ 令和6年3月29日

(2) 県関係事業

県機関が開発事業主体である事業について依頼を受け、記録保存調査を実施した。

番号	事業名	遺跡名	調査面積	種別	事業期間
1	広域河川改修事業(千田川)	向山遺跡(瀬戸内市)	420㎡	記録保存 調査	令和5年6月1日～ 7月31日
2	一般国道374号(美作岡山道路) 改築工事	宮坂遺跡(美作市)	1,302㎡	記録保存 調査	令和5年8月1日～ 10月31日

(3) 国等機関関係事業

国等機関が開発事業主体である2事業について委託を受け、記録保存調査を実施した。

番号	事業名	遺跡名	調査面積	種別	事業期間
1	一般国道53号(津山南道路)改築工事	高尾宮ノ前遺跡 (津山市)	2,880㎡	記録保存 調査	令和5年4月3日～ 令和6年3月29日

番号	事業名	遺跡名	調査面積	種別	事業期間
2	高梁川河川整備事業	酒津遺跡(倉敷市)	600㎡	記録保存調査	令和5年4月3日～5月31日、10月2日～令和6年3月29日

第2節 報告書作成・刊行事業

(1) 県関係事業

県機関が開発事業主体である2事業について、発掘調査報告書等を作成、刊行した。

番号	事業名	遺跡名	内容	作成期間	報告書名
1	一般国道429号改築工事	尾崎遺跡(美作市)	作成 刊行	令和5年4月3日～9月29日	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告267
2	特別名勝岡山後楽園二色が岡 景観復元事業	特別名勝岡山後楽園 史跡岡山城跡(岡山市)	作成 刊行	令和5年6月1日～ 令和6年3月29日	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告268

(2) 国等機関関係事業

国等機関が開発事業主体である2事業に関して委託を受け、発掘調査報告書等を作成、刊行した。

番号	事業名	遺跡名	内容	作成期間	報告書名
1	一般国道53号(津山南道路) 改築工事	高尾北ヤシキ遺跡 高尾北ヤシキ古墳 (津山市)	刊行	令和4年度	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告269
		高尾宮ノ前遺跡 (津山市)	作成	令和5年4月3日～ 令和6年3月29日	令和7年度 刊行予定
2	高梁川河川整備事業	水江遺跡 酒津遺跡 (倉敷市)	作成	令和5年4月3日～ 令和6年3月29日	令和6年度 水江遺跡刊行予定

第3節 資料の収蔵管理と保存処理

(1) 収蔵管理

報告書作成のための作業が終了した遺物について、報告書掲載遺物をA、非掲載図化遺物をB、非掲載未図化遺物をC、の3区分を行い、台帳作成の上、計126箱を収蔵した。いずれもAについては本館棟3階収蔵庫、B・Cについては収蔵棟で保管管理している。

番号	遺跡名	掲載報告書名	A箱数	B・C箱数	計
1	尾崎遺跡	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告267	6	14	20
2	特別名勝岡山後楽園、 史跡岡山城跡	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告268	1	1	2
3	高尾北ヤシキ遺跡、 高尾北ヤシキ古墳	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告269	24	52	76
4	津島遺跡	年報1	2	1	3
5	矢部南向遺跡	紀要第3号	12	10	22
6	百間川原尾島遺跡	紀要第3号	3	0	3
計			48	78	126

(2) 遺物の保存処理

1 木製品

7遺跡、6冊の発掘調査報告書に関係する102点の木製品について、PEG含浸処理作業を継続した。そのうち、県報告173の津島遺跡11点についての保存処理を完了した。

番号	遺跡名	報告書名	PEG含浸保存処理	
			作業点数	完了点数
1	津島遺跡	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告173	11	11
2	津島遺跡	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告190	15	—
3	百間川原尾島遺跡	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告239	24	—
4	百間川沢田遺跡	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告239	2	—
5	前田遺跡	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告244	26	—
6	岡山城二の丸跡	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告245	3	—
7	岡山城二の丸跡	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告247	21	—
計			102	11

2 金属製品

発掘調査報告書作成及び保存のため、20遺跡の金属製品について、X線撮影28カット、錆落とし441点、脱塩処理221点、BTA処理11点、樹脂含浸処理249点、表面樹脂塗布処理250点行った。

番号	遺跡名	処理内容(点数)					
		X線撮影 (カット数)	錆落とし	脱塩	BTA処理	樹脂含浸	樹脂塗布
1	刑部遺跡ほか	—	—	30	—	62	62
2	神明遺跡	—	—	109	4	78	78
3	南山城跡	—	—	1	—	1	1
4	城殿山遺跡	—	—	—	—	18	18
5	和田谷遺跡	—	—	40	—	52	52
6	マキサヤ遺跡	—	—	1	—	5	5
7	細畝古墳群	—	—	—	2	2	2
8	桑山2号墳	—	—	7	4	7	7
9	桑山3号墳	—	—	4	—	4	4
10	桑山5号墳	—	—	4	—	4	4
11	こうもり塚古墳	—	—	15	1	16	16
12	高尾宮ノ前遺跡	7	94	—	—	—	—
13	大林遺跡	—	262	—	—	—	—
14	城田遺跡	—	14	—	—	—	—
15	岡山後楽園二色が岡	—	3	—	—	—	—
16	酒津遺跡	8	1	—	—	—	—
17	備中国分寺跡	2	13	—	—	—	—
18	四御神古墳	7	5	—	—	—	1
19	下弓削遺跡	2	—	—	—	—	—
20	八幡大塚古墳群	2	49	—	—	—	—
計		28	441	211	11	249	250

第4節 公開活用事業

(1) 講座・講演会・報告会

1 吉備の考古学講座

発掘調査によって明らかとなった「吉備の歴史」をわかりやすく伝える講座。センター職員が吉備の埋蔵文化財を紹介し、その歴史的な意義について参加者の理解を深めた。令和5年度は2回実施。

本講座は岡山県立図書館との連携講座である。

会場：岡山県立図書館多目的ホール



第2回講座の様子

回数	日時	内容・講師	参加者数
第1回	令和5年10月14日(土) 13:30～15:00	「百間川の築造を考える」 総括参事 高田恭一郎	119名
第2回	令和6年3月2日(土) 13:30～15:00	「瓦からみる備中国分寺・国分尼寺創建への道のり」 調査第一課総括副参事 松尾佳子	64名

2 講演会「古墳時代の刀剣」

「古墳時代の刀剣」をテーマに、第一線で活躍されている考古学研究者を講師に迎え、古墳に副葬された刀剣や武装具から導き出される岡山県の古墳時代社会を紹介するための講演会を行った。

会場：岡山県立美術館ホール

日時	内容・講師	参加者数
令和5年11月18日(土) 13:00～16:00	「装飾付大刀から見た古代の吉備」 奈良大学文学部教授 豊島直博	159名
	「武装具出土古墳から見た吉備と出雲」 島根県八雲立つ風土記の丘学芸員 齊藤大輔	



豊島直博氏の講演



齊藤大輔氏の講演

3 「大地からの便り 2023 —県内の埋蔵文化財発掘調査報告会」

県下各地で行われた近年の発掘調査について映像を交えながら報告し、その成果を知る機会とし、郷土の歴史や埋蔵文化財に対する知識を深めた。令和5年度は4遺跡の紹介を行った。

会 場：岡山県立美術館ホール

開 催 日：令和5年7月1日（土）

参加者数：141名

番号	報告遺跡名	報告機関
1	中ノ谷横穴墓(新庄村)	岡山県古代吉備文化財センター
2	毎戸遺跡(矢掛町)	矢掛町教育委員会
3	高尾宮ノ前遺跡(津山市)	岡山県古代吉備文化財センター
4	備中松山城跡(高梁市)	高梁市教育委員会

(2) 発掘調査現地説明会・現場見学等

1 発掘調査現地説明会

5遺跡について発掘調査の現地説明会と現地公開をのべ8回実施し、計693名の参加者を得た。

遺跡名	開催日	対象	参加者数
向山遺跡(瀬戸内市)	令和5年7月20日(木)	地元	27名
高尾宮ノ前遺跡(津山市)	令和5年9月23日(土)	一般(事前申込)	90名
高尾宮ノ前遺跡(津山市)	令和5年9月25日(月)～27日(水)	現地公開	38名
宮坂遺跡(美作市)	令和5年10月17日(火)	地元	35名
史跡備中国分尼寺跡(総社市)	令和6年1月27日(土)	一般(事前申込)	120名
史跡備中国分尼寺跡(総社市)	令和6年1月29日(月)～2月2日(金)	現地公開	284名
高尾宮ノ前遺跡(津山市)	令和6年2月25日(日)	一般(事前申込)	65名
高尾宮ノ前遺跡(津山市)	令和6年2月26日(月)～27日(火)	現地公開	34名
計			693名



高尾宮ノ前遺跡の現地説明会



宮坂遺跡の現地説明会

2 発掘調査現場見学等

調査現場が所在する地元小学校や公民館等から4件の依頼を受け、計490名の発掘調査現場見学者を受け入れ、発掘調査状況の説明を行った。また、史跡備中国分尼寺跡発掘調査時の見学者557名への説明を随時行った。

見学受入遺跡名	見学日	団体名	見学者数
高尾宮ノ前遺跡(津山市)	令和5年6月29日(木)	津山市佐良山公民館	16名
高尾宮ノ前遺跡(津山市)	令和5年10月24日(火)	津山市立佐良山小学校	45名
史跡備中国分尼寺跡(総社市)	令和5年11月5日(日)	そうじゃ吉備路ウォーキング大会 実行委員会	410名
史跡備中国分尼寺跡(総社市)	令和5年11月7日(火)	総社市文化財保護審議会	19名
史跡備中国分尼寺跡(総社市)	令和6年1月26日(金)、 令和6年2月5日(月)～ 29日(木)	(発掘現場見学者への随時説明)	557名
計			1,047名

(3) 体験学習等

1 夏休み企画☆ワクワク古代体験!

夏休み期間に、勾玉・鏡づくりの体験や出土品展示等を実施し、地域の歴史を身近に体感できる機会とした。

会 場：人と科学の未来館サイピア
 期 間：令和5年7月25日(火)～28日(金)
 内 容：体 験 勾玉づくり、鏡づくり、弥生土器
 立体パズル
 展 示 南山城跡のパネル・ジオラマ展
 示、伊福定国前遺跡の出土品及
 びパネル展示



鏡づくりの様子

参加者総数：704名

2 津島遺跡やよいまつり

復元整備された史跡津島遺跡での自由参加型の古代体験を通して、津島遺跡を身近に感じる機会を提供し、埋蔵文化財の保護・保存に対する理解を深めた。なお、当日は岡山県立岡山工業高等学校の生徒20名がボランティアとして参加した。

会 場：津島やよい広場、遺跡&スポーツミュージアム(岡山県総合グラウンド内)
 開 催 日：令和5年10月21日(土)、22日(日)
 内 容：体 験 勾玉づくり、火起こし、石包丁を使った古代米の収穫、粳すり、弥生人に変身
 展示見学 遺跡&スポーツミュージアムの展示解説、復元住居・建物等の説明・案内
 そ の 他 会場内でのクイズラリー

参加者総数：1,065名



火起こしの様子



弥生人に変身の様子

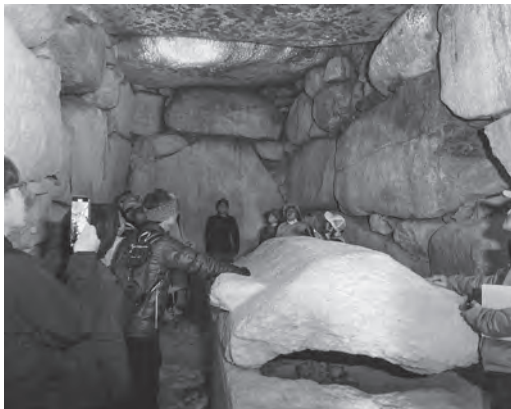
3 吉備路ウオーク

吉備路の歴史遺産である史跡備中国分寺跡、史跡備中国分尼寺跡、史跡こうもり塚古墳を解説しながら歩いて巡り、郷土の歴史に親しむ機会とした。

開催日時：令和5年12月2日（土）10:00～12:00

開催場所：史跡備中国分寺跡、史跡備中国分尼寺跡、史跡こうもり塚古墳

参加者数：34名



史跡こうもり塚古墳石室の解説



史跡備中国分尼寺跡の解説

4 吉備の史跡を巡る

吉備の史跡、特に地域のアイデンティティーの象徴である山城を巡りながらその沿革を学ぶことで、地域の歴史に親しむ機会とした。説明では、パンフレット『岡山の戦国争乱と城 第1巻「八浜の戦い」と城』を用いた。

開催日時：令和6年2月17日（土）

13:00～16:00

開催場所：両見山城跡（玉野市八浜町）

参加者数：43名



両見山城跡の解説

6 津島遺跡ボランティア

津島遺跡を中心とした埋蔵文化財に関する普及啓発活動の運営を円滑に進めるため、平成22年度から津島遺跡ボランティアを結成し、14年目を迎えた。令和5年度は13名の登録を得て、各種の公開活用事業において活動した。

活動実績

ボランティア連絡会議3回

ボランティア研修8回（体験、講座等の聴講）

津島遺跡小学校見学対応：9校

夏休み企画☆ワクワク古代体験！・津島遺跡やよいまつりスタッフ参加

津島遺跡やよい農園田植え・稲刈り・麦播き

(4) 展示

展示室において、常設展示、2回の企画展示、1回の特別展、2回の特別公開を行った。

入館者数は4,195名（小学校等の施設見学者数含む）であり、年間開館日数は355日であった。

種別	会 期	タイトル・テーマ
企画展1	令和5年4月19日(水)～10月15日(日)	広がるムラとその景観
企画展2	令和5年10月18日(水)～令和6年4月14日(日)	岡山県の刀剣
特別展	令和5年10月18日(水)～令和6年4月14日(日)	鬼ノ城―発掘調査成果が語るその歴史―
特別公開	令和5年4月27日(木)～5月9日(火)	高尾北ヤシキ遺跡出土の鏡像
特別公開	令和6年2月10日(土)～2月25日(日)	桑山3号墳出土鹿角装短刀



企画展1「広がるムラとその景観」



企画展2「岡山県の刀剣」



展示替えの様子（職場体験）



常設展示

月別展示室入館者数

年	月	入館者数	入館者数内訳								開館日数	1日平均入館者数
			個人 (うち子ども)		団体				小計			
			個人	(うち子ども)	一般	学	校	小	計			
R 5	4	291	269	(20)	2	22	0	0	2	22	30	9.7
	5	676	313	(37)	9	101	2	262	11	363	31	21.8
	6	978	158	(9)	3	26	9	794	12	820	29	33.7
	7	266	157	(20)	7	71	1	38	8	109	31	8.6
	8	251	175	(26)	5	73	1	3	6	76	31	8.1
	9	167	164	(18)	2	3	0	0	2	3	30	5.6
	10	324	213	(19)	7	107	2	4	9	111	31	10.5
	11	334	207	(12)	8	121	3	6	11	127	29	11.5
R 6	12	124	110	(2)	2	14	0	0	2	14	27	4.6
	1	243	173	(20)	5	70	0	0	5	70	26	9.3
	2	266	240	(9)	3	26	0	0	3	26	29	9.2
	3	275	240	(13)	4	35	0	0	4	35	31	8.9
合計		4,195	2,419	205	57	669	18	1,107	75	1,776	355	11.8
参考 R 4 年度		(4,313)	(2,501)	(234)	(54)	(664)	(25)	(1,148)	(79)	(1,812)	(354)	12.2

(5) 講師派遣

依頼を受けて職員を派遣し、体験学習、講座講師を行った。派遣数は13回で、受講者総数は698名であった。

講座・講演内容	開催日	団体名	担当	受講者数
岡山県南山城跡の発掘調査から	令和5年4月22日(土)	日本城郭史学会	総括副参事 米田克彦	71名
実践演習(地域歴史遺産)	令和5年5月10日(水)	岡山大学文学部	次長 柴田英樹	24名
百間川遺跡群の調査成果と築造の歴史	令和5年7月9日(日)	岡山市立高島公民館	総括参事 高田恭一郎	52名
佐良山の古墳	令和5年7月20日(木)	津山市佐良山公民館	総括副参事 小嶋善邦	34名
周匝茶臼山城と大仙山城	令和5年7月29日(土)	赤磐市教育委員会	主幹 和田 剛	92名
夏休みフリー塾 2023	令和5年8月3日(木)	岡山市立東公民館	調査第一課	21名
川入・中撫川遺跡の発掘調査	令和5年9月15日(金)	岡山市立吉備公民館	副参事 氏平昭則	18名
玉類からさぐる土井ヶ浜遺跡	令和5年10月22日(日)	土井ヶ浜遺跡人類学 ミュージアム	総括副参事 米田克彦	160名
石蟹山城と備中国の城館	令和5年10月28日(土)	石蟹山城保存会	主幹 和田 剛	50名
中ノ谷横穴墓の発掘調査成果から掘り起こす新庄村の歴史	令和5年11月25日(土)	新庄村教育委員会	主事 四田寛人 総括参事 高田恭一郎	24名
岡山県桑山古墳群の発掘調査成果	令和5年12月10日(日)	考古学研究会	主事 四田寛人	66名
マキサヤ遺跡の発掘調査と縄文時代	令和6年1月27日(土)	里庄町教育委員会	次長 柴田英樹	52名
和田谷遺跡の発掘調査成果	令和6年3月10日(日)	浅口市教育委員会	総括参事 高田恭一郎	34名

(6) 刊行物等

1 所報吉備

センターの事業・活動を広く周知するため、年間2冊（第75号、第76号）を刊行した。

体 裁：カラー印刷 A4判、8頁

刊行部数：1,000部

2 紀要第3号

センターの調査・研究活動及び公開活用事業の成果を広く情報発信し、本県の埋蔵文化財に対する理解を深める契機とするため、紀要第3号を刊行した。

体 裁：A4判、90頁

内 容：研究報告3、調査・資料報告4

刊行部数：300部

3 パンフレット『吉備路の歴史遺産2』

「吉備路の歴史遺産」魅力発信事業の一環として、吉備路周辺に所在する遺跡に親しむ機会とするためのパンフレットを刊行した。

体 裁：カラー印刷、A5判、20頁

内 容：吉備路周辺に所在する遺跡のうち、備中国分寺跡、備中国分尼寺跡、鬼ノ城などの古代の遺跡を中心に紹介。吉備路周辺のウォーキングマップやガイダンス施設も掲載。

刊行部数：10,000部

4 パンフレット『岡山の戦国争乱と城 第1巻「八浜の戦い」と城』

県内に所在する中・近世城館の魅力発信を目的に、『岡山県中世城館跡総合調査』の成果を活用して著名な合戦とそれに関連する城館を紹介し、地域のアイデンティティを醸成するパンフレットを刊行した。

体 裁：カラー印刷、A4判、8頁

内 容：岡山市・玉野市の2市の城館5城を掲載

刊行部数：5,000部

5 パンフレット『美作・佐良山の遺跡』

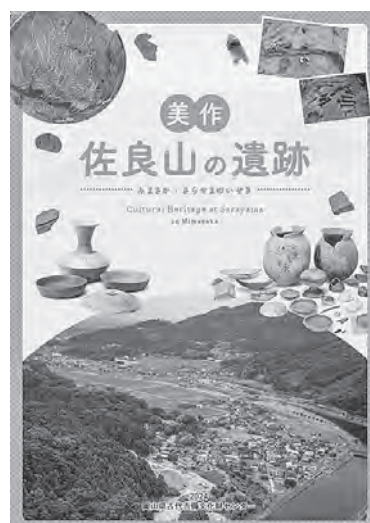
津山市佐良山地区を対象に主な埋蔵文化財について周知するため、埋蔵文化財発掘調査の成果を中心に、一般向け概要報告としてパンフレットを作成、配布した。

体 裁：カラー印刷 A4判、8頁

刊行部数：3,000部



パンフレット
『岡山の戦国争乱と城』



パンフレット
『美作・佐良山の遺跡』

(7) 資料貸出・掲載許可・資料調査対応

1 収蔵遺物資料貸出

8件、計146点の収蔵遺物資料貸出を行った。

	依頼者	資料	点数	目的	期間
1	岡山県立博物館	百間川沢田遺跡出土弥生土器 加茂政所遺跡出土弥生土器 百間川兼基遺跡出土弥生土器 津島遺跡出土弥生土器 大河内遺跡出土弥生土器、勝間田焼 上東遺跡出土弥生土器 刑部遺跡出土弥生土器 鬼城山出土土製品 中撫川遺跡出土土製品、弥生土器 原尾島遺跡出土須恵器、土師器 雄町遺跡出土緑釉陶器 津寺遺跡出土土師器、銭 新邸遺跡出土鉛弾 郷ノ溝遺跡出土鉛弾 仏生田遺跡出土鉛弾、弥生土器 百間川原尾島遺跡出土瓦経 岡山城二の丸跡出土軒丸瓦 高塚遺跡出土突線鈕流水文銅鐸、貨泉、棒状銅製品 津島遺跡出土木製品 特別名勝・国指定史跡岡山後楽園花交の池出土木樋管 上東遺跡出土製塩土器 西江遺跡出土特殊器台、特殊壺	71	展示	令和5年2月24日(金)～ 令和6年3月31日(日)
2	野崎家塩業歴史館	阿津走出遺跡出土製塩土器 上東遺跡出土製塩土器	2	展示	令和5年4月1日(土)～ 令和6年3月31日(日)
3	大阪府立弥生文化博物館	百間川原尾島遺跡出土打製石包丁 菰池遺跡出土打製石包丁	2	展示	令和5年4月1日(土)～ 令和6年3月31日(日)
4	美作市教育委員会	高本遺跡出土弥生土器、石器、土製紡錘車、円面硯 大海廃寺出土瓦、鷗尾	34	高本遺跡遺物： 高本公民館展示 大海廃寺遺物： 作東歴史民俗資料館展示	令和5年4月1日(土)～ 令和6年3月31日(日)
5	総社吉備路文化館	備中国分寺跡出土軒丸瓦、軒平瓦、平瓦 備中国分尼寺跡出土軒丸瓦	4	展示	令和5年4月1日(土)～ 令和6年3月31日(日)
6	文化庁	佐良山古墳群出土遺物 桑山1号墳出土須恵器高杯・提瓶 桑山2号墳出土耳環 桑山3号墳出土管玉、算盤玉、切子玉、丸玉、小玉、ガラス小玉 桑山5号墳出土須恵器裝飾壺・脚付椀・鈴付高杯、円筒埴輪 桑山南1号墳出土須恵器鈴付高杯、耳環 桑山南2号墳出土鉄鐸、切子玉、丸玉 桑山南3号墳出土鉄鐸 細畝3号墳出土須恵器特殊偏壺、耳環 高尾北ヤシキ古墳出土須恵器皮袋形瓶、筒形土製品	29	「発掘された日本列島2023」展示	令和5年8月1日(火)～ 令和6年3月31日(日)
7	岡山県立博物館	百間川原尾島遺跡出土須恵器杯	1	令和5年特別展「醸す」展示	令和5年10月11日(水)～ 12月22日(金)
8	岡山県立博物館	阿津走出遺跡出土製塩土器	3	テーマ展「八幡大塚古墳と児島屯倉」展示	令和5年11月30日(木)～ 令和6年1月31日(水)

2 写真画像等資料貸出・掲載許可

44 件、計 227 点の写真画像等資料貸出・掲載許可を行った。

番号	依頼者	遺跡名 画像等資料名	点数	目的
1	赤磐市教育委員会	県報告 105「斎富遺跡」算盤玉形紡錘車 ※津山郷土博物館特別展図録 17「渡来人」 P37の 71から転載	1	赤磐市山陽郷土資料館「斎富遺跡・中池南遺跡発掘調査速報展 私の田んぼの下のムラ」において、写真パネル及び小冊子(WEB掲載)に掲載
2		県報告 105「斎富遺跡」カラー写真図版 2「1.竪穴住居 58出土新羅系陶質土器」、カラー写真図版 3「1.軟質系土器」、写真図版 17「2.竪穴住居 68出土土器」	3	
3	方谷研究会	県報告 144「大成山たたら遺跡群」巻頭図版 1「1 B区高殿たたら全景(南西から)」	1	冊子「山田方谷副読本」に掲載
4	株式会社クリエイティブネクサス	センターHP特集記事「吉備路の歴史遺産」魅力発信事業 こうもり塚古墳「こうもり塚古墳の横穴式石室と石棺」	1	TV番組「ヴィランの言い分」内で参考画像として表示
5	株式会社第一学習社	県報告 71「阿津走出遺跡」巻頭図版 2「2.阿津走出遺跡製塩土器」	1	高等学校地理歴史科副教材「最新日本史図表」に掲載
6	有限会社大悠社	センターHP特集記事「吉備路の歴史遺産」魅力発信事業 こうもり塚古墳「こうもり塚古墳の横穴式石室と石棺」	1	株式会社新学社発行の通信添削「ポピー 11月号」の付録冊子「PIKARI!! 11月号」に掲載
7	個人	県報告 105「斎富遺跡」カラー写真図版 1「1.斎富遺跡全景(北東上空から)、カラー写真図版 2「1.竪穴住居 58出土新羅系陶質土器」・「2.陶質・陶質系土器」、カラー写真図版 3「1.軟質系土器」、カラー写真図版 4「1.土壙 62出土ねずみ返し状木製品」、P 38「竪穴住居 6画像」、P 176「掘立柱建物 44画像」、P 215「周溝遺構 4画像」、P 255下左「墓 11画像」、写真図版 2「1.前田調査区全景(北東上空から)」・「2.前田調査区全景(南東上空から)」、写真図版 7「1.掘立柱建物 1(南東から)」、写真図版 9「1.土壙 62(南から)」・「3.土壙 62木製品出土状況(南から)」、写真図版 18「1.周溝遺構 4出土土器」、写真図版 40「3.遺構に伴わない遺物(10)(陶質系土器 器台)」、写真図版 45「1.出土金属器(1) M5」・「1.出土金属器(1) M9」 「所報吉備 65号」 P 8「西上空から見た斎富遺跡」・「角杯形土器」	20	赤磐市教育委員会主催講演会(令和5年7月8日)説明パワーポイント及び資料で使用
8	総社市	県報告 266「史跡こうもり塚古墳」巻頭図版 2「2 こうもり塚古墳 須恵器・土師器」、図版 2「2 こうもり塚古墳鳥瞰図(南から) ※赤色立体地図」、図版 30「1 環頭大刀柄頭」パンフレット『史跡こうもり塚古墳 吉備最後の大型前方後円墳とその時代』 P 9「こうもり塚古墳横穴式石室図」	4	『広報そうじゃ』2023年8月号に掲載
9	個人	県報告 88「百間川原尾島遺跡 3」巻頭図版 4「2.土壙 1(土器の出土状態)」	1	自費出版書籍に掲載
10	岡山大学文明動態学研究所 文化遺産マネジメント部門	県報告 113「大村遺跡」巻頭図版 2「1.大村遺跡全景(南から)」・「2.2～3区 全景(南から)」、図版 23「2.集積墓 7(南東から)」	3	第22回岡山大学キャンパス発掘成果展「中世の吊いー鹿田遺跡の事例から」展示パネルで使用
11	奈良市教育委員会	県報告 266「史跡こうもり塚古墳」図版 22「出土遺物(陶棺①)」～図版 25「出土遺物(陶棺④)」	64	令和5年度秋期特別展に伴うホームページ・公式 X(旧 Twitter)での広報、展示パンフレット、及び展示パネルで使用
12	考古学研究会	県報告 257「南山城跡」巻頭図版 2「1 南山城跡 近景(南上空から)」、巻頭図版 3「2 南山城跡 堀切2北側、堀切1・2、土塁 8(北西から)」	2	『考古学研究』第69巻第2号(令和5年9月刊行)「岡山例会第23回シンポジウム報告」に掲載
13	総社市	県報告 266「史跡こうもり塚古墳」巻頭図版 1「こうもり塚古墳 横穴式石室(南から)」、巻頭図版 2「2 こうもり塚古墳 須恵器・土師器」、図版 6「1 T1上段(南西から)」、図版 13「2 T2墳丘断面オルソ画像(1/60)」、図版 23「出土遺物(陶棺②) 蓋 1」、図版 30「1 環頭大刀柄頭」	6	総社市埋蔵文化財学習の館出張展示「ここまでわかった!こうもり塚古墳」チラシの解説パネルに掲載
14	テレビせとうち株式会社	センター公式 YouTubeチャンネル「【360°動画】史跡こうもり塚古墳を360°で体験しよう!」映像 パンフレット「吉備路の歴史遺産」 P 3「空から見たこうもり塚古墳」	2	令和5年8月22日(火曜日)放送の「ななすバ BIZ」内で、こうもり塚古墳を古墳博士の中学生が薦める VTRで使用
15	株式会社 ABCアーキ	センターHP特集記事「吉備路の歴史遺産」魅力発信事業 吉備路の歴史遺産「空から見た造山古墳」、特集記事 古代吉備を探る 古代吉備を探る 1 特殊な壺と器台「特殊器台形埴輪(矢部堀越遺跡)」	2	『歴史人』2023年10月号「今さら聞けない「古墳と天皇陵」」挿図で使用

番号	依頼者	遺跡名 画像等資料名	点数	目的
16	Aerospace News Agency Sapporo	センターHPセンター案内 収蔵遺物紹介「彩文土器(百間川原尾島遺跡出土)」、特集記事 子どもホームページ 遺物紹介コーナー「銅鐸(高塚遺跡出土)」 特集記事 古代吉備を語る1 銅鐸の発見 県報告189「長縄手遺跡」図版6「竪穴住居1出土土器1」、図版7「竪穴住居1出土土器2」、図版9「竪穴住居3出土土器1」、図版10「竪穴住居3出土土器2」、図版11「竪穴住居3出土土器3」、図版12「土器溜まり出土土器」、図版13「土壇1出土土器」	10	アイヌ文様と土器(縄文・続縄文)文様・装飾古墳文様の類似性の研究 団体内機関誌と Aerospace News Agency Sapporoホームページで使用
17	株式会社文芸社	パンフレット『よみがえる久田の歴史』P13「久田原遺跡」	1	『千年後に迫り来る大洪水 日本書紀に遺された巨大洪水と神功皇后』(津田慎一著)に掲載
18	株式会社ベネッセコーポレーション	県報告150「高塚遺跡」巻頭図版4「フロヤ調査区出土高塚銅鐸B面」	1	中学生向け通信教育教材に掲載
19	株式会社フジテレビジョン「めざましテレビ」	パンフレット『国指定史跡 こうもり塚古墳』P2「空から見たこうもり塚古墳」	1	めざましテレビ「キラビト」コーナーの古墳愛に溢れる中学生を紹介する中で、お気に入り古墳として「こうもり塚古墳」紹介で使用(令和5年11月9日放送)
20	考古学研究会	県報告262「桑山古墳群」図版43「1 桑山3号墳箱式石棺遺物出土状況(南東から)」	1	考古学研究会公式X(旧Twitter)の記事(岡山例会の案内)に掲載
21	岡山県教育庁生涯学習課	センターHP特集記事 古代吉備を語る 古代吉備を語る1 たたら「大成山たたら遺跡群B区 高殿たたら床釣り断面」、「本床・小舟」、「手前:砂鉄置き場 後方:木炭置き場」、「江戸初期の地下構造」	4	「おかやま まなびとサーチ」に掲載する刀鍛冶の仕事紹介動画で「たたら」資料として使用
22	東海村教育委員会生涯学習課	センターHP特集記事「吉備路の歴史遺産」魅力発信事業 吉備路の歴史遺産「空から見た造山古墳」	1	令和5年11月25日開催「J-PARC講演会2023」の発表資料(パワーポイント)に使用
23	株式会社雄山閣	県報告119「百間川沢田遺跡4」縄文土器(P104第140図1) 県報告11「谷尻遺跡」縄文土器(P168第16図10) ※執筆撮影	2	『対馬暖流をめぐる先史時代の土器文化』(幸泉満夫著)に掲載
24	株式会社日経サイエンス	県報告30「久米三成4号墳」P6「第2図 三成4号墳地形図」、P7「第3図 三成4号墳遺構配置平面図及び墳丘断面図」、図版8「8-1 三成4号墳第1主体部人骨出土状態(東から)」、図版9「9-1 三成4号墳第2主体部人骨出土状態(西から)」、「9-2 三成4号墳第2主体部人骨出土状態(東から)」、図版14「三成4号墳出土遺物(1) 仿製変形四獣鏡」	6	『日経サイエンス』2024年2月号(12月25日発売、紙版・電子版・PDF版)の特集「DNAが語る古代ヤポネシア」に掲載
25	美作市教育委員会	県報告213「尾崎遺跡 中町B遺跡」巻頭図版4「1 神子柴型石斧」、巻頭図版6「道路遺構(南から)」、巻頭図版7「2 道路遺構(北から)」 県報告216「下坂遺跡」巻頭図版5「2 下坂遺跡 横口付製炭窯1(西から)」 パンフレット『美作・勝央発掘ものがたり』P7「一番大きな炉跡」・「製鉄炉跡周辺で出土した遺物」	6	『美作市文化財保存活用地域計画』に掲載
26	総社市	県報告266「史跡こうもり塚古墳」巻頭図版1「こうもり塚古墳 横穴式石室(南から)」、巻頭図版2「1 こうもり塚古墳 環頭大刀・馬具」・「2 こうもり塚古墳 須恵器・土師器」、図版8「1 T7(西から)」、図版22「出土遺物(陶棺①)」、図版24「出土遺物(陶棺③)」	24	日本遺産「桃太郎伝説」の生まれたまち おかやま観光ガイド養成講座(令和6年1月13日開催)で使用
27	熊本博物館	県報告69「亀山遺跡」図版9「1.1号窯焚き口(東から)」	1	熊本市発掘速報展(令和6年2月3日～5月12日)
28	熊本博物館	県報告69「亀山遺跡」亀山焼(P37図10、P39図12～P41図14、P45図18～P49図22、P66図42～P77図57、P187図176・177掲載遺物) ※熊本博物館学芸員撮影	6	トピック展示の熊本博物館収蔵品「樺番城窯跡」出土品展示コーナーのパネル掲載及び「館蔵品解説パンフレット」(令和6年2月3日発行)に掲載
29	株式会社天夢人	センター外観・展示室 県報告266「史跡こうもり塚古墳」図版3「1 こうもり塚古墳全景(南東から)」、「2 こうもり塚古墳全景(西から)」 『史跡こうもり塚古墳保存活用計画書』巻頭図版2「2 こうもり塚古墳横穴式石室(南から)」、P46「写真6 出土品「1 単鳳環状柄頭」」	5	中央公論新社発売・株式会社天夢人編集「歴史と人物18日本百名墳」(令和6年3月7日発売)、「古墳をめぐる歴史を学ぶ」特集内で使用
30	総社市	センターHP新着情報 備中国分尼寺跡の現地説明会・現地公開を開催します!「南門調査区の状況」	1	総社市SNSにて史跡備中国分尼寺跡の現地説明会・現地公開の広報で使用

第3章 事業の概要

番号	依頼者	遺跡名 画像等資料名	点数	目的
31	公益財団法人鹿嶋市文化スポーツ振興事業団	センターHP子どもホームページ 遺物紹介コーナー「特殊器台・特殊壺」「壺と器台(上東遺跡出土)」、「特殊器台と特殊壺(西江遺跡出土)」、「特殊器台形埴輪(矢部堀越遺跡出土)」	3	『マンガかしまの歴史』第4巻(2024年3月刊行)内コラムに掲載
32	篠向山を愛し城址を大切にす会	パンフレット『攻略!おかやまの中世城館』第3巻(美作国東部編) P8「縄張り図の読み解き方(「切岸で守る」イラスト)」	1	篠向城の案内説明看板に掲載
33	株式会社朝日新聞出版	センターHP子どもホームページ 遺跡紹介コーナー「造山古墳」「空から見た造山古墳」、「作山古墳」「空から見た作山古墳」、「こうもり塚古墳」「横穴式石室と石棺」	3	週刊朝日ムック『歴史道』vol.32に掲載
34	株式会社ジャパン通信情報センター	『高尾宮ノ前遺跡現地説明会資料』P1「古墳と段状遺構(南から)」画像、P2「段状遺構(南東から)」画像・「甕の出土状況」画像・「竪穴式石室(南東から)」・「石室から出土した須恵器(杯蓋)と鉄器」画像・「遺跡全体図」図	6	月刊誌『文化財発掘出土情報』に掲載
35	株式会社目の眼	県報告125「伊福定国前遺跡」図版19「2.土製品 C16」	1	『目の眼』4月号(令和6年3月15日発売)特集「土偶とはにわ」譽田亜紀子氏記事内に掲載
36	株式会社山陽新聞社	センターHPデジタル図書室 現地説明会資料「史跡備中国分尼寺跡現地説明会資料」P2「南門想像図」イラスト図	1	新聞記事に掲載
37	長門市教育委員会生涯学習・文化財課	センターHP子どもホームページ 遺物紹介コーナー「裝飾付大刀」「真庭市土井2号墳出土の頭椎大刀」 県報告236「史跡鬼城山2」図版33「1 I-2区 土器溜まり1出土遺物③ 60」 パンフレット『甦る!古代吉備の国 謎の鬼ノ城～城内を探る』P6「復元された円面硯」	3	令和6年度前期(令和6年3月8日～8月末)展示キャプションで使用
38	岡山県教育庁教育政策課	センター外観写真 佐良山小学校6年生の遺跡見学の様子(津山市高尾宮ノ前遺跡)	2	『岡山県の教育』(令和6年度)表紙で使用
39	株式会社同成社	県報告173「津島遺跡4」巻頭図版8「1 籠目土器」	1	『醸造の考古学』(梅川光隆著)に掲載
40	津山市	赤磐市弥上古墳出土陶棺(センター展示室内撮影)	1	『広報津山』令和6年5月号内記事「津山の歴史あ・ら・か・る・と」に掲載
41	交野市立教育文化会館(歴史民俗資料展示室)	県報告142「津寺一軒屋遺跡」微細遺物(鍛冶炉-1・2及び周辺出土鍛造剥片と加工鉄片) ※福岡市埋蔵文化財センター撮影	7	和泉市教育委員会編「和泉市史研究紀要」第33号に掲載
42	一般社団法人はれとこ	県報告266「史跡こうもり塚古墳」図版1「1 こうもり塚古墳周辺(南西上空から)」、図版2「2 こうもり塚古墳鳥瞰図(南から)※赤色立体図」、図版3「1 こうもり塚古墳全景(南東から)」、図版7「1 T2下段(西から)」、図版13「2 T2墳丘断面オルソ画像」、P33「第15図 T2断面図」 パンフレット「吉備路の歴史遺産2」P11「備中国分尼寺跡の伽藍配置」※赤色立体図 センターHP特集記事「吉備路の歴史遺産」魅力発信事業 令和4年度調査員便り第2号「現地説明会のひとこま 前方部の盛り土を見学中」 センターHP古代吉備きび通信 令和5年度「吉備路ウォーク」を開催しました!」掲載画像	13	Webメディア「倉敷とことこ」記事に掲載
43	岡山県教職員組合	センターHP子どもホームページ 遺物紹介コーナー「縄文土器」「岡山市百間川沢田遺跡出土の縄文土器」	1	冊子「夏休みの友」6年生の社会科問題の参考写真として使用
44	株式会社ビザビ	センター外観写真 センターHP特集記事「吉備路の歴史遺産」魅力発信事業 令和5年度調査員便り第4号「史跡備中国分尼寺跡の現地説明会・現地公開を行います 南門調査区」	2	『タウン情報おかやま』紙面掲載

3 資料調査対応

大学教官、学生、都道府県・市町村埋蔵文化財専門職員等の研究、及び博物館特別展等の準備のため、依頼された収蔵資料調査に対応した。令和5年度は28件の申請、約1,150点以上の資料調査に対応した。

(8) ホームページ・メールマガジン

センターホームページ (<https://www.pref.okayama.jp/site/kodai/>) の内容について70回更新し、計125,935アクセスを得た。メールマガジン（岡山県メールマガジン「メルマガ晴れの国：大地からの便り」）の現在ののべ登録者数は442人であり、年間65回発行した。このほか、FacebookやInstagram、YouTube等のSNSを利用し、実施事業の広報を行った。



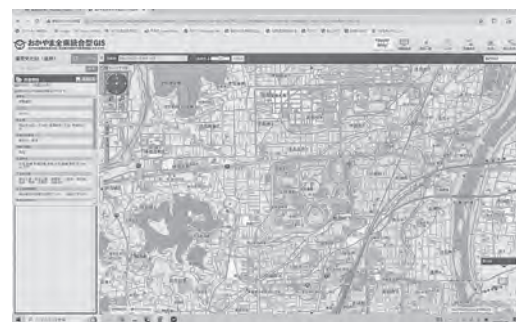
センターホームページ



センター公式 YouTube チャンネル

(9) おかやま全県統合型GIS

センターが発掘調査、報告書作成等で関係した県内の埋蔵文化財包蔵地情報について、情報更新票を作成した。令和5年度は既知14件についてその内容を更新し、県文化財課に提出した。この情報は県文化財課から該当市町村に照会確認を行った後、埋蔵文化財包蔵地登録更新となり、「おかやま全県統合型GIS」において公開される。



岡山県全県統合型GIS（埋蔵文化財）

なお、本節に記した公開活用事業のうち下記の内容は国庫補助事業（地域の特色ある埋蔵文化財活用事業）である。

- 吉備の考古学講座 ● 講演会「古墳時代の刀剣」 ● 夏休み☆ワクワク古代体験！
- 津島遺跡やよいまつり ● 吉備路ウォーク ● 吉備の史跡を巡る
- パンフレット『吉備路の歴史遺産2』作成
- パンフレット『美作・佐良山の遺跡』作成
- パンフレット『岡山の戦国争乱と城 第1巻 「八浜の戦い」と城』

第5節 教育支援事業

(1) センター施設・発掘調査現場見学

センター施設や発掘調査現場での校外学習を受入れ、施設内の調査作業や発掘調査現場作業、出土品解説などを行い、歴史学習支援を行った。令和5年度は13校、計1,139名を受け入れた。

番号	見学日	学校名	人数	見学場所
1	令和5年5月1日(月)	岡山市立中山小学校	114名	センター
2	令和5年5月16日(火)	岡山市立御南小学校	148名	センター
3	令和5年6月1日(木)	岡山市立陵南小学校	158名	センター
4	令和5年6月1日(木)	岡山市立箕島小学校	62名	センター
5	令和5年6月6日(火)	岡山市立芳明小学校	112名	センター
6	令和5年6月7日(水)	岡山市立横井小学校	157名	センター
7	令和5年6月8日(木)	岡山市立岡南小学校	86名	センター
8	令和5年6月9日(金)	岡山市立馬屋下小学校	20名	センター
9	令和5年6月22日(木)	岡山市立妹尾小学校	88名	センター
10	令和5年6月23日(金)	岡山市立第二藤田小学校	63名	センター
11	令和5年6月29日(木)	岡山市立彦崎小学校	48名	センター
12	令和5年7月6日(木)	岡山市立鯉山小学校	38名	センター
13	令和5年10月24日(火)	津山市立佐良山小学校	45名	高尾宮ノ前遺跡調査現場(津山市)

(2) 津島遺跡見学

史跡整備した津島遺跡(岡山市)と遺跡&スポーツミュージアムでの校外学習を受入れ、弥生時代の暮らしを中心に説明を行い、歴史学習の一助とした。令和5年度は12校、計1,024人を受け入れた。なお、説明にはミュージアムスタッフ、津島遺跡ボランティアの援助を得た。

番号	見学日	学校名	人数
1	令和5年4月20日(木)	岡山市立鹿田小学校	130名
2	令和5年5月12日(金)	岡山市立大元小学校	175名
3	令和5年5月30日(火)	吉備中央町立大和小学校	7名
4	令和5年6月6日(火)	岡山市立伊島小学校	145名
5	令和5年6月13日(火)	玉野市立宇野小学校	35名
6	令和5年6月29日(木)	岡山市立甲浦小学校	45名
7	令和5年7月7日(金)	倉敷高等学校	6名
8	令和5年9月6日(水)・7日(木)	岡山市立西小学校	232名
9	令和5年10月11日(水)	岡山市立伊島小学校	30名
10	令和5年10月18日(水)	岡山市立横井小学校	147名
11	令和5年11月2日(木)	ノートルダム清心女子大学附属小学校	66名
12	令和5年12月7日(木)	岡山市立岡山後楽館中学校	6名

(3) 職場体験・出前授業

センターでの進路学習・職場体験、学校への出前授業を行った。令和5年度は8校119名の児童・生徒を対象とした。

番号	期 間	内容	学校種	学校名	人数	場所
1	令和5年8月1日(火)	進路学習	高等学校	県立倉敷青陵高等学校	3名	センター
2	令和5年10月17日(火)～19日(木)	職場体験	中学校	岡山市立御南中学校	2名	センター
3	令和5年10月21日(土)	出前授業	中学校	岡山市立中山中学校	27名	学校
4	令和5年10月25日(水)～27日(金)	職場体験	中学校	岡山市立京山中学校	2名	センター 調査現場
5	令和5年11月8日(水)～10日(金)	職場体験	中学校	岡山市立中山中学校	2名	センター 津島遺跡
6	令和5年11月14日(火)～15日(水)	職場体験	中学校	岡山市立高松中学校	2名	センター 調査現場
7	令和5年11月14日(火)～16日(木)	職場体験	中学校	岡山市立吉備中学校	2名	センター 調査現場
8	令和5年12月20日(水)	出前授業	高等学校	県立岡山工業高等学校	79名	学校

学校利用によるセンター施設・発掘調査現場見学、津島遺跡見学、センターでの進路学習・職場体験、学校への出前授業の令和5年度の総計は、33校、2,282人であった。



小学校見学（センター）の様子



小学校見学・体験（津島遺跡）の様子



職場体験（センター復元作業）の様子



職場体験（津島やよい農園稲刈り）の様子

第6節 市町村支援事業

埋蔵文化財専門職員が配置されていない県下市町村が実施する発掘調査や報告書作成などに対して、職員を派遣する等の支援を行った

(1) 村内遺跡保存活用総合調査に伴う智頭往来志戸坂峠越発掘調査・報告書作成

市町村名：英田郡西粟倉村

遺跡名：智頭往来志戸坂峠越

所在地：英田郡西粟倉村坂根 518-4 ほか

調査期間：令和5年5月22日～6月6日

調査面積：11㎡

担当者：和田 剛・高田恭一郎

調査成果：近世及び近代の道路、石垣

(2) 町道泉・田ヶ原線新築に伴う発掘調査

市町村名：和気郡和気町

遺跡名：藤野遺跡

所在地：和気郡和気町藤野 486-2 ほか

調査期間：令和5年11月1日～

令和6年2月22日

調査面積：442.1㎡

担当者：米田克彦・四田寛人

調査成果：古墳時代の集落、古代の官衙関連遺跡



調査委員会（智頭往来志戸坂峠越）

第7節 専門職員研修等

埋蔵文化財専門職員の資質向上のため、所内研修及び市町村職員を含む埋蔵文化財担当職員研修会を開催した。また、岡山県教育委員会主催埋蔵文化財保護行政基礎講座、奈良文化財研究所文化財担当者研修及び全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会研修会を受講した。

(1) 所内研修

日	内容	講師
令和5年9月29日（金）	第1回発掘調査状況報告	各調査担当者
令和5年12月1日（金）	奈良文化財研究所文化財担当者専門研修「文化財三次元計測課程」伝達研修	調査第三課 杉浦香菜子
令和6年1月31日（水）	報告書作成マニュアルの検討	報告書作成検討委員会
令和6年3月1日（金）	第2回発掘調査状況報告	各調査担当者

(2) 埋蔵文化財担当職員研修会

日時	内容・講師	参加者数
令和6年2月8日（木） 13:00～15:00	現場見学：史跡備中国分尼寺跡発掘調査現場（総社市上林ほか） 講師：調査第一課 松尾佳子	47名

(3) 埋蔵文化財保護行政基礎講座（岡山県版）受講

日時	場所	受講者
令和5年11月29日(水) 13:30～16:50	岡山県生涯学習センター視聴覚室	所 長 奥山修司 次 長 柴田英樹 総 務 課 福池光修 絹輪桂子 調査第一課 高田恭一郎 小嶋善邦 和田 剛 四田寛人 小林有紀子 平野友梨 瀬戸悠輔 調査第二課 米田克彦 團 奈歩 山口香織 西村 奏 調査第三課 岩橋惇也 杉浦香菜子 森本 蓮

(4) 奈良文化財研究所文化財担当者研修受講

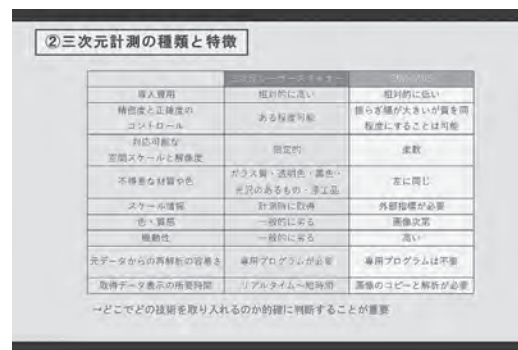
期 間	内 容	受講者
令和5年10月2日(月)～6日(金)	文化財三次元計測課程	調査第三課 杉浦香菜子
令和5年11月20日(月)～12月1日(金)	文化財写真課程	調査第二課 藤井雄一

(5) 全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会研修会受講

期 間	場 所	受講者
令和5年10月19日(木)・20日(金)	香川県立ミュージアム	調査第一課 四田寛人



埋蔵文化財担当職員研修会



所内研修資料（文化財三次元計測課程）

第8節 調査指導会等

(1) 埋蔵文化財保護調査指導会

発掘調査及び報告書作成を適切かつ円滑に進めるとともに、その成果・内容についての客観性を確保するため、大学教官等県内の有識者に委員を依頼し、埋蔵文化財調査指導会を設け、指導助言を得た。令和5年度は3事業において開催した。なお、本指導会は文化財課が主催した。

1 一般国道53号(津山南道路)改築工事に伴う埋蔵文化財保護調査指導会

委 員：亀田修一(岡山理科大学)、澤田秀実(くらしき作陽大学)、清家 章(岡山大学)、
仁木康治(津山市)、三坂一徳(岡山理科大学)

開 催 日：令和5年7月7日(金)、12月7日(木)、令和6年2月22日(木)

協議事項：発掘調査状況、報告書作成状況

2 高梁川河川整備事業に伴う埋蔵文化財保護調査指導会

委員：稲田孝司(元岡山大学)、
出宮徳尚(元岡山市教育委員会)、
野崎貴博(岡山大学文明動態学研究所)、
伴 祐子(倉敷考古館)、
福本 明(岡山商科大学)

開催日：令和5年11月27日(月)、
令和6年2月19日(月)

協議事項：発掘調査状況、報告書作成状況



調査指導会（高梁川）

3 一般国道374号(美作岡山道路)改築工事に伴う埋蔵文化財保護調査指導会

委員：白石 純(岡山理科大学)、
平岡正宏(津山市)、
湊 哲夫(元津山郷土博物館)、
山本悦世(元岡山大学)、
行田裕美(元津山市教育委員会)

開催日：令和5年10月16日(月)

協議事項：発掘調査状況



調査指導会（一般国道374号）

(2) 埋蔵文化財専門委員による現地指導

発掘調査等を円滑に進めるとともに、その成果・内容についての客観性を確保するため、文化財課が有識者に委員を依頼し、指導助言を得た。

委員：亀田修一(岡山理科大学)、山本悦世(元岡山大学)

指導日：令和6年1月24日(水)、山本委員による指導

指導事項：藤野遺跡の調査状況

(3) 史跡備中国分尼寺跡ほか調査指導会

「吉備路の歴史遺産」魅力発信事業として、史跡備中国分尼寺跡ほかの発掘調査、総合調査報告書作成を適切かつ円滑に進めるため、有識者に委員を依頼し、指導助言を得た。

委員：亀田修一(岡山理科大学)、
上原真人(元京都大学)、
今津勝紀(岡山大学)、
海野 聡(東京大学)

オブザーバー：浅野啓介(文化庁)、
芝康次郎(文化庁)、
河合 忍(県文化財課)

開催日：令和5年5月22日(月)、
12月21日(木)、
令和6年3月12日(火)



調査指導会（史跡備中国分尼寺跡ほか）

第9節 古代歴史文化に関する共同調査研究事業

古代歴史文化にゆかりの深い県が互いに連携し、各県が集積してきた考古学及び古代史の研究成果を基礎に共同調査研究することによって、個々地域的な研究だけでは見えにくかった日本古代史の大きな流れを解明することを狙いとし、14県が平成26年11月に古代歴史文化協議会を設立した。

令和5年度からは、第3期（令和5・6年度）として体制を8県に改め、「古墳時代の中央と地域」をテーマに共同調査研究を進めている。

1 構成県

埼玉県・奈良県・和歌山県・鳥取県・島根県・岡山県・佐賀県・宮崎県

2 共同調査研究集会

第17回研究集会

開催日：令和5年9月12日（火）・13日（水）

開催地：岡山県岡山市

3 研究中間報告「古墳時代の中央と地域」動画配信

動画内容

基調講演：「古墳時代の王権と地域」 菱田哲郎（京都府立大学教授）

研究中間報告：「古墳時代の中央と地域」

埼玉県、奈良県、和歌山県、鳥取県、
島根県、岡山県（調査第一課 藤井雅大）、
佐賀県、宮崎県の各県の担当者

*第17回研究集会にて令和5年9月12日収録。

令和6年3月26日からオンライン配信



岡山県の動画タイトル画面

第10節 労働安全衛生

（1）安全衛生委員会

発掘調査現場や施設内での各種作業等における職員の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進することを目的にセンター内に安全衛生委員会を設置し、年間12回の安全衛生委員会を開催した。

1 委員会の構成と重点目標

委員長（総括安全衛生管理者）、副委員長（総括安全衛生管理者職務代理者）、産業医、安全管理者、衛生管理者、その他委員 計19名

重点目標：『労災ゼロ』

標語：『落ち着いて 安全確認 ゼロ労災』

2 安全衛生研修

第1回 令和5年4月28日（金）DVD視聴「働く人の睡眠と健康」あなたの睡眠、足りていますか？～睡眠不足と睡眠障害～

第3章 事業の概要

第2回 令和5年7月28日（金） 産業医による安全衛生に関する講話「熱中症と夏バテ防止について」

第3回 令和5年10月31日（火） 岡山西消防署職員による実地研修「救急法」

第4回 令和5年12月1日（金） 「健康教室」

～始業時の効果的な準備運動を習得しよう！～

3 各現場研修

調査現場及び整理作業におけるヒヤリハット運動とその報告

4 安全衛生管理状況現場巡視

職員相互による巡視を行い、調査現場の安全衛生管理状況について確認した。巡視結果と改善点については、安全衛生委員会で報告し、情報共有を図った。

回数	期日	調査現場遺跡	重点項目
第1回	令和5年5月10日（水）	高尾宮ノ前遺跡	風雨対策 現場通路の安全対策
第2回	令和5年9月14日（木）	宮坂遺跡	暑さ対策 現場通路の安全対策
第3回	令和5年10月5日（木）	高尾宮ノ前遺跡	火災予防 現場通路の安全対策
第4回	令和6年1月12日（金）	酒津遺跡	降雪・霜対策 現場通路の安全対策

(2) 各種資格取得・受講

安全管理者選任時研修受講：福池総務課長

第一種衛生管理者：山口主事

有機溶剤作業主任者：藤井(雅) 主事

刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育：岡本副参事、藤井(雄) 主事

低圧電気取扱業務に係る特別教育：氏平副参事

第11節 施設等の修繕

令和5年度に実施した施設等の修繕は、次のとおりである。

番号	場 所	内 容
1	本館1階男女トイレ	トイレブラケット照明器具取替
2	本館1階展示室	監視カメラ設備修繕
3	本館2階資料・図書室	照明器具取替
4	本館2階休養室・洗濯室・鉄器処理室	照明器具取替
5	本館1階玄関 風除室内側	アルミドア修繕
6	児童学習室	消防用設備等修繕
7	収蔵棟 作業員室	エアコン室内機修繕
8	収蔵棟 写真マイクロ等保管室	エアコン配管修繕
9	収蔵棟	監視カメラ設備修繕
10	第一受水槽・第二受水槽・高架水槽	給水設備改修工事

第12節 文化財保護法に基づく提出書類

(1) 史跡の現状変更許可申請 (法第125条)

番号	申請文書番号 日付	史跡名	所在地	目的	申請者	期間	指示の内容	許可文書番号
1	教文理第692号 令和5年7月25日	史跡備中国分尼寺跡	総社市上林 1194-1ほか	発掘調査	岡山県教育委員 会教育長	許可日～ 令和6年3月31日	実施に当たっては、岡山県文化財担当部局の指導を受けること。	5文庁第1892号 令和5年7月21日
2	教文理第851号 令和4年8月30日	史跡津島遺跡	岡山市北区 いずみ町1-1	津島遺跡やよ いまつりのた めテントを設 置	岡山県古代吉備 文化財センター 所長	令和5年10月20日～ 10月23日	施工に際しては、岡山市文化財担当部局の指導を受けること。	岡山市教育委員会 指令文第679-1号 令和5年9月6日

(2) 埋蔵文化財試掘確認調査の報告 (法第99条)

番号	文書番号日付	周知/ 未周知	遺跡名称 時代 種類	所在地	面積 (㎡)	原因事業	包蔵地 有無	報告者	担当者	調査期間
1	岡吉調第21号 令和5年5月25日	周知	向山遺跡 弥生・古墳 集落跡	瀬戸内市長船町 飯井2184-3	14	広域河川改修事業 (干田川)	有	岡山県古代吉備 文化財センター 所長	四田寛人	令和5年 5月15日～ 5月17日
2	岡吉調第33号 令和5年6月21日	周知	美作国分寺跡 奈良・平安 社寺跡	津山市国分寺 469-8ほか	35	道路整備事業 (交通安全)	有	岡山県古代吉備 文化財センター 所長	松尾佳子 藤井雅大	令和5年 6月5日～ 6月9日
3	岡吉調第53号 令和5年7月21日	未周知		津山市福田76ほか	55	一般国道53号(津山 南道路)改築工事	有	岡山県古代吉備 文化財センター 所長	四田寛人 岩橋惇也	令和5年 6月19日～ 6月27日
4	岡吉調第65号 令和5年8月17日	周知	至孝農遺跡 近世 製鉄遺跡	苫田郡鏡野町 218-3ほか	33	通常砂防事業 (カナザコ川)	有	岡山県古代吉備 文化財センター 所長	四田寛人 岩橋惇也	令和5年 7月10日～ 7月18日
5	岡吉調第112号 令和6年1月10日	未周知		笠岡市園井591-1	20	県道園井里庄線地方 道路整備事業道路改築	無	岡山県古代吉備 文化財センター 所長	小嶋善邦 和田剛 四田寛人	令和5年 12月19日～ 12月20日
6	岡吉調第136号 令和6年2月20日	周知	滝谷川遺跡 弥生・中世 集落	久米郡美咲町飯岡 255-1ほか	54	一般国道374号(美 作岡山道路)改築工 事	有	岡山県古代吉備 文化財センター 所長	四田寛人	令和6年 1月15日～ 1月25日

(3) 埋蔵文化発掘調査の報告 (法第99条)

番号	文書番号 日付	遺跡名称 時代・種類	所在地	面積 (㎡)	原因事業	報告者	担当者	期間
1	岡吉調第5号 令和5年4月6日	酒津遺跡 弥生時代～中世 集落跡	倉敷市酒津地先	400	高梁川河川整備事業	岡山県古代吉備文化財 センター所長	物部茂樹 石田爲成 氏平昭則 岡本泰典 岩橋惇也 杉浦香菜子 森本 蓮	令和5年4月6日～ 5月31日
2	岡吉調第7号 令和5年4月10日	高尾宮ノ前遺跡 弥生時代～中世 集落跡	津山市高尾 1284ほか	2,880	一般国道53号(津山南道路) 改築工事	岡山県古代吉備文化財 センター所長	小林利晴 藤井雄一 阿部誠悟	令和5年4月10日～ 令和6年3月31日
3	岡吉調第22号 令和5年6月1日	向山遺跡 弥生時代～中世 集落跡	瀬戸内市長船町 飯井2183-1	420	広域河川改修事業 (干田川)	岡山県古代吉備文化財 センター所長	氏平昭則 杉浦香菜子	令和5年6月1日～ 7月31日
4	岡吉調第52号 令和5年8月1日	宮坂遺跡 奈良時代～中世 集落跡	美作市位田714- 2ほか	1,100	一般国道374号(美作岡山道路) 改築工事	岡山県古代吉備文化財 センター所長	岡本泰典 氏平昭則 森本 蓮	令和5年8月1日～ 10月31日
5	岡吉調第79号 令和5年10月23日	酒津遺跡 弥生時代～中世 集落跡	倉敷市酒津地先	1,000	高梁川河川整備事業	岡山県古代吉備文化財 センター所長	物部茂樹 石田爲成 氏平昭則 岡本泰典 西村 奏 岩橋惇也 杉浦香菜子	令和5年10月23日～ 令和6年3月31日

第3章 事業の概要

(4) 埋蔵文化財発見の通知（法第100条第2項）

番号	文書番号 日付	物件名	出土地 遺跡名称	出土年月日	発見者	土地所有者	現保管場所	発見の理由
1	教文理第327号 令和5年5月25日	弥生土器・土師器ほか 計整理箱1箱	瀬戸内市長船町 飯井2184-3 向山遺跡	令和5年5月15日～ 5月17日	岡山県教育委員 会教育長	岡山県	岡山県古代吉備 文化財センター	広域河川改修事業 (干田川)に伴う 確認調査
2	教文理第358号 令和5年6月1日	弥生土器・土師器・須恵 器・陶磁器・土製品・金 属製品 計整理箱4箱	倉敷市酒津地先 酒津遺跡	令和5年4月6日～ 5月31日	岡山県教育委員 会教育長	国土交通省	岡山県古代吉備 文化財センター	高梁川河川整備事業に 伴う発掘調査
3	教文理第450号 令和5年6月16日	土師器・須恵器・勝間田 焼・瓦質土器・陶器・瓦 ・釘ほか 計整理箱1箱	津山市国分寺 469-8ほか 美作国分寺跡	令和5年6月5日～ 6月9日	岡山県教育委員 会教育長	岡山県	岡山県古代吉備 文化財センター	道路整備事業(交通安 全)に伴う確認調査
4	教文理第577号 令和5年7月4日	須恵器・土師器・磁器 ほか 計整理箱1箱	津山市福田76ほか	令和5年6月19日～ 6月27日	岡山県教育委員 会教育長	国土交通省	岡山県古代吉備 文化財センター	一般国道53号 (津山南道路)改築工事 に伴う試掘調査
5	教文理第725号 令和5年8月2日	弥生土器・土師器・須恵 器・備前焼・青磁・白磁・ 瓦・石製品ほか 計整理箱17箱	瀬戸内市長船町 飯井2183-1 向山遺跡	令和5年6月1日～ 7月31日	岡山県教育委員 会教育長	岡山県	岡山県古代吉備 文化財センター	広域河川改修事業 (干田川)に伴う 発掘調査
6	教文理第838号 令和5年8月31日	磁器・鉄滓・炉壁ほか 計整理箱1箱	苫田郡鏡野町至孝農 218-3ほか 至孝農遺跡	令和5年7月10日～ 7月18日	岡山県教育委員 会教育長	個人 岡山県	岡山県古代吉備 文化財センター	通常砂防事業 (カナザコ川)に伴う確 認調査
7	教文理第1451号 令和5年12月5日	弥生土器・須恵器・陶磁 器・石器・鉄器ほか 計整理箱4箱	美作市位田714-2 ほか 宮坂遺跡	令和5年8月1日～ 10月27日	岡山県教育委員 会教育長	岡山県	岡山県古代吉備 文化財センター	一般国道374号(美作岡 山道路)改築工事に伴 う発掘調査
8	教文理第1623号 令和6年1月4日	陶磁器ほか 計整理箱1箱	笠岡市園井591-1	令和5年12月19日～ 12月20日	岡山県教育委員 会教育長	岡山県	岡山県古代吉備 文化財センター	県道園井里庄線地方道 路整備事業道路改築に 伴う試掘調査
9	教文理第1856号 令和6年2月7日	弥生土器・備前焼ほか 計整理箱1箱	久米郡美咲町飯岡 255-1ほか 滝谷川遺跡	令和6年1月15日～ 1月25日	岡山県教育委員 会教育長	個人 岡山県	岡山県古代吉備 文化財センター	一般国道374号(美作岡 山道路)改築工事に伴 う確認調査
10	教文理第2087号 令和6年3月12日	瓦・須恵器・土師器・緑 釉陶器・金属製品・鉄滓 ほか 計整理箱220箱	総社市上林1194-1 ほか 史跡備中国分尼寺跡	令和5年10月2日～ 令和6年2月29日	岡山県教育委員 会教育長	文部科学省 岡山県	岡山県古代吉備 文化財センター	「吉備路の歴史遺産」魅 力発信事業に伴う発掘 調査
11	教文理第2099号 令和6年3月14日	弥生土器・土師器・須恵 器・土製品・石製品・金 属製品・ガラス製品・鉄 滓・人骨・獣骨ほか 計整理箱130箱	倉敷市酒津地先 酒津遺跡	令和5年10月23日～ 令和6年3月15日	岡山県教育委員 会教育長	国土交通省	岡山県古代吉備 文化財センター	高梁川河川整備事業に 伴う発掘調査
12	教文理第2140号 令和6年3月18日	弥生土器・土師器・須恵 器・勝間田焼・備前焼・ 青磁・陶棺・瓦・石器・ 石製品・金属製品・鉄滓 ほか 計整理箱11箱	津山市高尾1284ほか 高尾宮ノ前遺跡	令和5年4月10日～ 令和6年3月15日	岡山県教育委員 会教育長	国土交通省	岡山県古代吉備 文化財センター	一般国道53号 (津山南道路)改築工事 に伴う発掘調査

第4章 調査の概要

第1節 試掘確認調査概要

(1) 広域河川改修事業（干田川）に伴う確認調査

向山遺跡

所在地：瀬戸内市長船町飯井 2184-3

調査期間：令和5年5月15日～5月17日

担当者：四田寛人

調査面積：14m²

調査の経過

向山遺跡は大塚古墳群の所在する丘陵の南裾部に位置する。令和4年度にT1～3を設定して確認調査を実施したが、令和5年度は新たに現在畑地や住宅地となっている丘陵端部の段状に整形された平坦面上にトレンチT4を設定した。

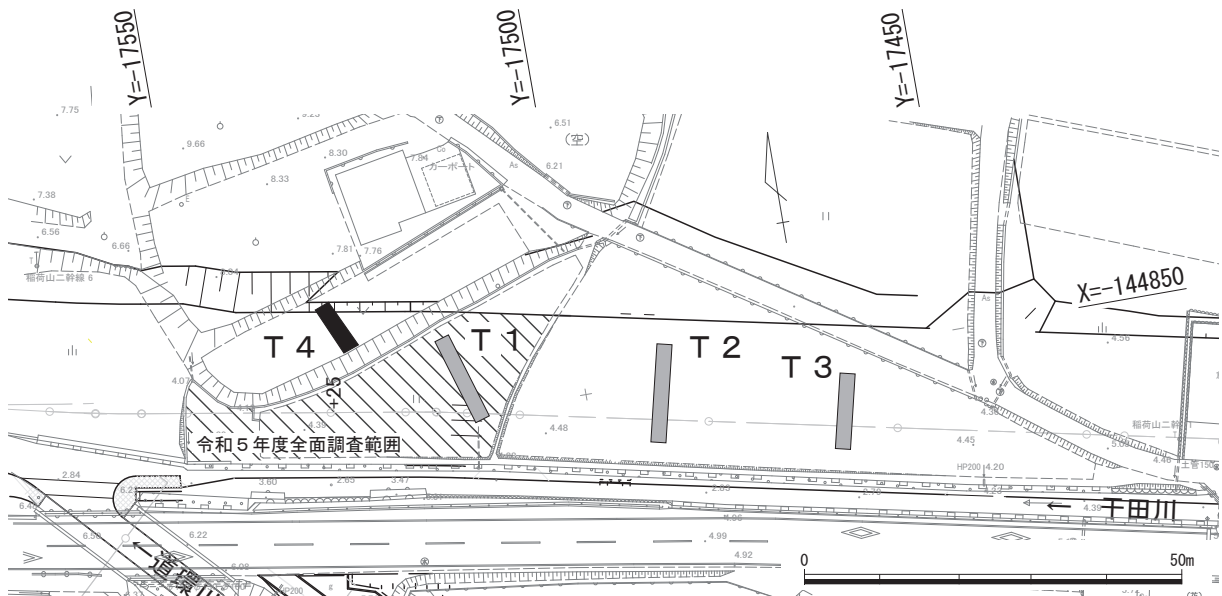
調査の概要

T4では弥生時代後期以前に位置づけられるピット2基を検出した。表土下約15～25cmで土器や炭化物を多く含む包含層を確認した。出土土器は壺、甕、高杯、製塩土器などで、弥生時代後期～古墳時代に位置づけられる。包含層の下には固く締まったにぶい黄褐色を呈する花崗岩パイラン土が認められ、丘陵の地山と考えられる。検出したピット2基は地山上面から掘り込まれている。ピットはいずれも上面で直径約30～35cm、深さ約50cmであり、規模と断面形から柱穴となる可能性がある。時期は、包含層下で検出したことから弥生時代後期以前と考えられる。

(四田)



調査位置図 (1/25,000)



トレンチ配置図 (1/1,000)

(2) 道路整備事業（交通安全）に伴う確認調査

美作国分寺跡

所在地：津山市国分寺 469-8 ほか

調査期間：令和5年6月5日～6月9日

担当者：松尾佳子・藤井雅大

調査面積：35㎡

調査の経過

調査地は、美作国分寺域の南に位置し、古代官道が推定される場所である。古代官道が推定される地点にT1・T2を設定し、その南側の包蔵地の有無の確認のためにT3・T4を設定して調査を実施した。

調査の概要

T1では、造成土の下に2面の水田層を確認した。上層の水田層からは近代以降の遺物が出土した。下層の水田層の時期は不明であるが、古代まで遡る可能性は低いと考える。水田層の下で地山を確認した。

T2では、近代以降の溝を1条確認した。溝の下層では中世以降に形成された包含層を確認した。この包含層の下は地山であり、この地点は中世以前に削平されていることを確認した。

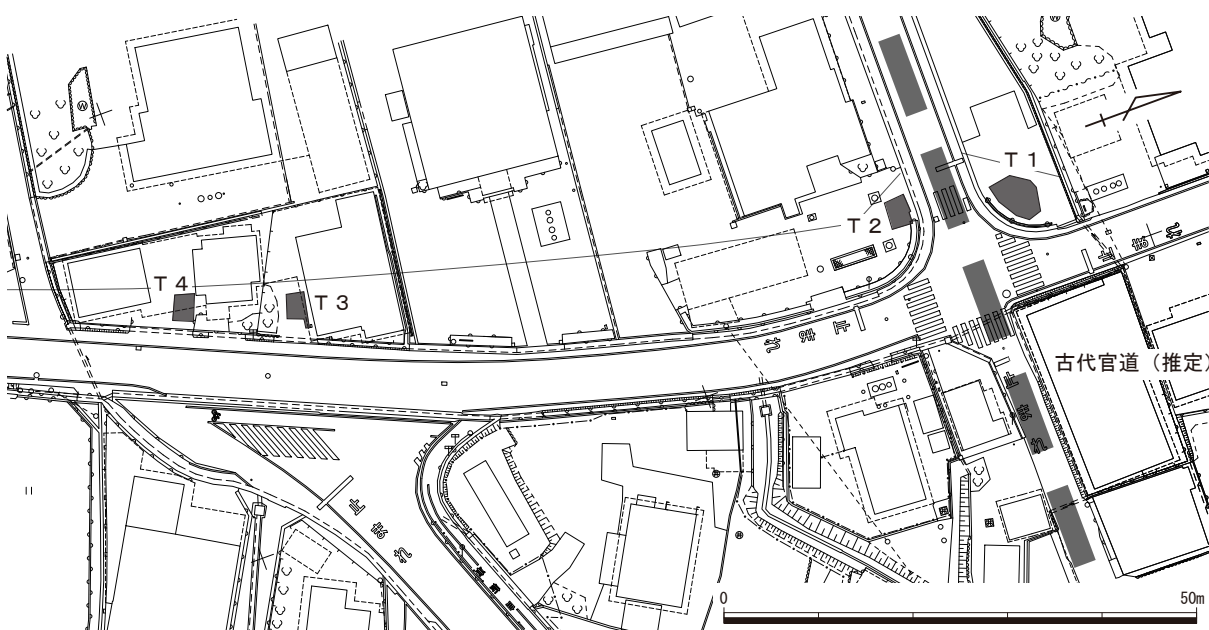
T3では、地山直上で現代の陶器片が出土していることから、造成時またはそれ以前に削平されていると考えられる。

T4では、近代以降の溝を1条確認した。溝より下の層には中世の遺物包含層が検出された。地山に貼り付いて古代の土器が出土したことから、中世以降の地下げにより削平を受けた可能性が高い。

各地点の地山の標高を比較するとT1が低く、T3が高い。T1は旧地形を反映していると考えられる。他の調査区を比較すると、T3は遺物包含層が残っており、それより低いT2とT4では中世の遺物包含層が残ることから中世以降の地下げが考えられるが、T4では地山直上で古代の土器が出土しており、地山の標高が低い地点では古代の包含層等が残る可能性が考えられる。（藤井）



調査位置図 (1/25,000)



トレンチ配置図 (1/800)

(3) 一般国道53号(津山南道路)改築工事に伴う試掘調査

所在地：津山市福田76ほか

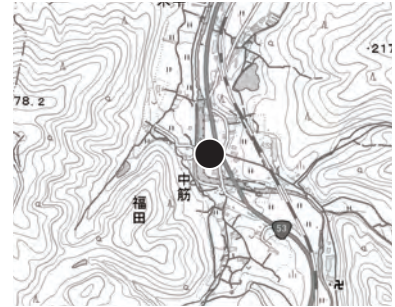
調査期間：令和5年6月19日～6月27日

担当者：四田寛人・岩橋惇也

調査面積：55㎡

調査の経過

調査地は皿川東岸に所在する。対岸の丘陵沿いには古墳時代～中世の散布地である福田湯田遺跡が広がり、丘陵上には丸山城跡や天神山城跡などの山城がみられる。調査地の小字地名には「土居」「大道」などが残り、周辺に中世の遺構の広がりが見込まれたため、3本のトレンチを設定して調査を行った。



調査位置図 (1/25,000)

T1・T2で古墳時代後期の遺物包含層を確認した。これらのことから、本調査地は皿川を挟んで西に位置する福田湯田遺跡から続く遺跡が広がると考えられる。

T1は表土下約1.6mで河床堆積層を確認した。表土直下は造成に伴う客土層や昭和期の水田である。表土下約1.4mで黒褐色を呈する粘質土層がみられ、TK209型式に位置づけられる須恵器杯身の口縁部片や土錘を含むことから古墳時代後期の遺物包含層と考えられる。この包含層下の黒褐色を呈する層の上面でピットを1基検出した。規模は検出面で径約25cm、深さ約13cmである。

T2は表土下約1.4mで河床堆積層を確認した。表土直下は造成に伴う客土層や昭和期の水田層であり、水田層の下には洪水砂が認められた。表土下約0.6～1.2mでは時期不明の造成が認められ、トレンチ西側が段状に高くなっている。この造成に伴い、厚さ約10～15cmの花崗岩パイラン土による整地面と土留めと思われる25cm以下の礫を含む高まり状の構造が認められた。また、花崗岩パイラン土による整地面で径約20cm、深さ約10cmのピットを1基検出した。これらに伴う明確な遺物は出土しておらず、造成の時期は不明である。表土下約1.3mでみられた暗褐色を呈する粘質土層では焼成不良の須恵器片が少量出土しており、T1で確認した古墳時代後期の包含層に対応する。

T3は表土下約1.1mで河床堆積層を確認した。表土は50cm程度の礫を多く含む現代の造成土である。表土下は灰褐色を呈する昭和期の水田層であり、プラスチック片等を含む。この水田層下は径10cm以下の円礫を多く含む河川による堆積層である。T3では遺物・遺構はともに確認していない。

(四田)



トレンチ配置図 (1/2,000)

(4) 通常砂防事業（カナザコ川）に伴う確認調査

至孝農遺跡

所在地：苫田郡鏡野町至孝農 218-3 ほか

調査期間：令和5年7月10日～7月18日

担当者：四田寛人・岩橋惇也

調査面積：33㎡

調査の経過

調査地は吉井川西岸の山嶺斜面に所在する。現地表面には石垣を伴う人為的な平坦面があり、森林作業道沿いに石積みをもつ窪みや廃滓場が認められる。堰堤建設に伴う管理用道路の敷設が予定されている範囲に3本のトレンチを設定して調査を行った。



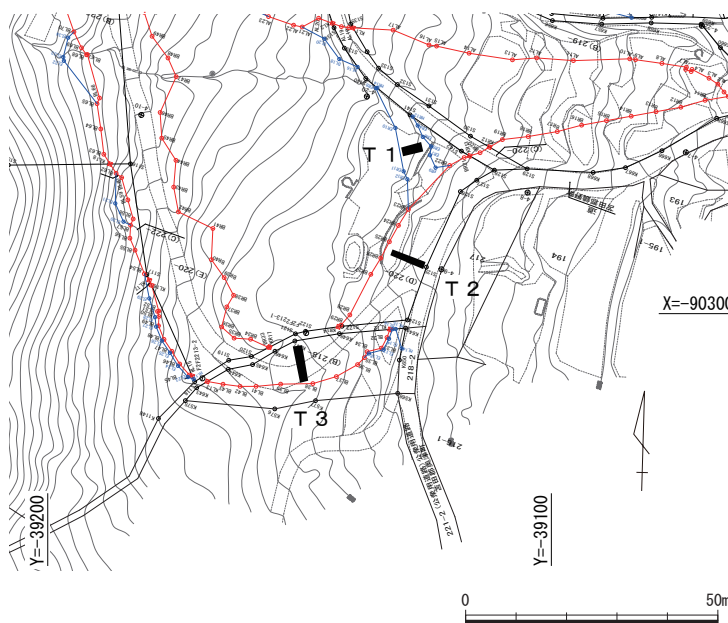
調査位置図 (1/25,000)

調査の概要

T1は表土下約1.1mで地山を確認した。表土直下で花崗岩バイラン土による厚さ5～10cmほどの層がみられ、平坦面の整地土と考えられる。整地土下は平坦面の造成土であり、石垣の裏込め土を兼ねる。黒褐色を呈し、最大1mほどの礫が多く認められた。これらの礫は造成土の上方に多く、平滑な面を上に向けるものが多いことから平坦面を安定させるために置かれた可能性がある。地山は花崗岩バイラン土である。T1からは、遺構・遺物ともに確認できなかった。

T2は楕円形の窪みより1段下の平坦面から石垣にかけて設定した。石垣はトレンチ西端より約2mの位置にあり、高さ約1.8mで最大50cm程度の礫が粗雑に積まれている。地山は表土下約85cmで確認した。表土下には森林作業道に伴う碎石や造成土、森林作業道以前の耕作土がみられ、これらの層の下でT1と同様の黒色を呈し礫が多く入る平坦面の造成土が認められた。この造成土中より、江戸時代末～明治時代と思われる磁器片が少量出土している。

T3は楕円形の窪みが存在する平坦面の南端付近に設定した。地山は表土下約60cmで確認した。表土は森林作業道に伴う碎石である。表土直下の黒色を呈する土層は多量の炉壁・鉄滓を含む。黒色土下の土層は暗褐色を呈し、部分的ににぶい黄褐色の粗砂ブロックが見られる。この層は炉壁・鉄滓をほぼ含まない。地山は固く締まった花崗岩バイラン土である。遺構はトレンチ南側で最大80cmの石が直線的に並び、石列となる可能性がある。また石列に接して栗石が認められた。その他に、トレンチ中央付近で径約20cm、深さ約10cmのピット1基を検出したほか、トレンチ北端の地山上面で鉄滓を含む黒色土が部分的に堆積する状況を確認した。堆積は一辺約1.1mの方形を呈し、厚さは最大5cmである。地山の掘削を伴わず、被熱痕も認められないため、性格は不明である。 (四田)



トレンチ配置図 (1/1,500)

(5) 県道園井里庄線地方道路整備事業道路改築に伴う試掘調査

所在地：^{かざおか}笠岡市^{そのい}園井 591-1 調査期間：令和5年12月19日～12月20日

担当者：小嶋善邦・和田 剛・四田寛人 調査面積：20㎡

調査の経過

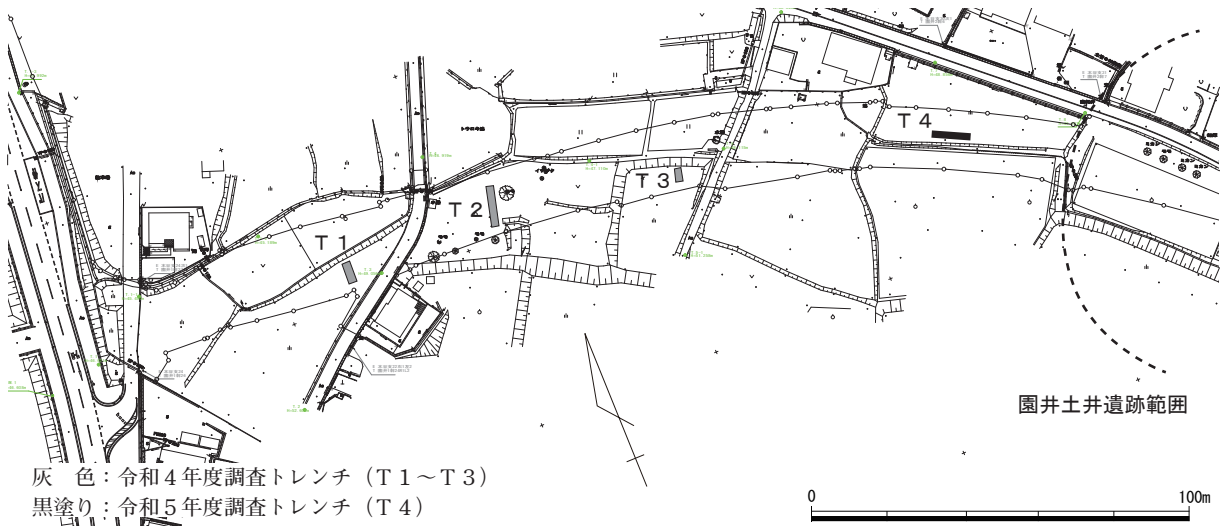
調査地は、諏訪神社が所在する丘陵の北側裾部に位置する畑地である。浅い谷地形に向けて緩やかに下がる地形を呈する場所に、トレンチT4を設定し調査を行った。

調査の概要

表土下で畑作や果樹の栽培に伴う攪乱や水田層を確認した。これらは江戸時代後半から現代までの陶磁器類やプラスチック片を少量含み、近現代のものと考えられる。表土下約30cmで非常に固く締まった地山を確認した。地山上面を精査したが、遺構はみられなかった。 (四田)



調査位置図 (1/25,000)



灰色：令和4年度調査トレンチ (T1～T3)
黒塗り：令和5年度調査トレンチ (T4)

トレンチ配置図 (1/2,000)

(6) 一般国道374号(美作岡山道路)改築工事に伴う確認調査

所在地：^{たぎたにかわ}滝谷川遺跡
久米郡美咲町飯岡 255-1 ほか

調査期間：令和6年1月15日～1月25日

担当者：四田寛人

調査面積：54㎡

調査の経過

滝谷川遺跡は吉井川と吉野川が合流する地点の北岸、ウネ山の麓から南へ下る緩やかな傾斜地上に位置する。調査地は緩斜面が階段状に造成されており、平坦面上に5本のトレンチを設定した。

調査の概要

T3でピット4基、T5でピット1基、流路1条を検出した。これらの時期は出土遺物から弥生時代中期以降と考えられる。

T1は最も北に設定したトレンチで、標高75.2mの地点に位



調査位置図 (1/25,000)

置する。現代の水田に伴う土層と土石流による堆積がみられた。地山は土石流による堆積物の下、表土下約1.4 mで検出し、砂岩や風化礫を多量に含む。遺構は確認していない。遺物は近世以降の備前焼や陶磁器類が水田層と造成土中で出土している。

T 2は標高72.2 mの地点に設定したトレンチである。現代の水田層と圃場整備に伴う造成土の直下で土石流による堆積がみられた。重機によって部分的に掘り下げたところ、表土下1.8 mまで同様の堆積土を確認した。遺構は確認していない。遺物は造成土中より土師器片や鉄釘がごく少量出土した。

T 3は標高69.5 mの地点に位置するトレンチである。T 2と同じく、現代の水田層と造成土、土石流による堆積物がみられ、これらの直下で褐色を呈し弥生土器を含む包含層が認められた。地山は表土下90cmで検出した明黄褐色を呈するシルトである。遺構は包含層上面で4基のピットを確認した。これらは直径約30～50cm、深さ10～25cmで、埋土に弥生土器を含む。

T 4は標高66.6 mの地点に位置するトレンチである。現代の水田層と圃場整備に伴う造成土の直下で土石流による堆積がみられた。重機によって表土下約1.6 mまで部分的に掘り下げを行ったが、礫を非常に多く含む土石流による堆積が続いた。遺構は確認できなかった。

T 5は最も南に設定したトレンチで、標高62.3 mの地点に位置する。現代の水田層直下で勝間田焼を含む中世以降の水田層がみられた。さらにこの水田層下で弥生時代以降の包含層を確認した。地山は地表下約45cmで検出した黄褐色を呈するシルトである。遺構はピット1基と流路1条を確認した。ピットは弥生時代以降の包含層を掘り込み、確認した範囲で直径65cm、深さ25cmである。遺物は出土しておらず明確な時期は不明だが、上面が中世以降の水田層で削平されているため中世以前と考えられる。流路は北東から南西方向へ流れ、確認した範囲で最大幅約2 m、深さ約80cmである。時期は埋土の最下部で弥生土器が出土していることから、弥生時代～中世以前に位置づけられる。

(四田)



トレンチ配置図 (1/3,000)

第2節 発掘調査概要

(1) 高梁川河川整備事業に伴う発掘調査

酒津遺跡

所在地：倉敷市酒津地先 調査期間：令和5年4月3日～5月31日、10月2日～令和6年3月29日
 担当者：物部茂樹・石田爲成・氏平昭則・岡本泰典・西村 奏（10月～）・岩橋惇也・杉浦香菜子・森本 蓮（4・5月）

調査面積：600㎡（①R5-4・5・7・8区 200㎡、②3・4区 400㎡）

調査の経過

酒津遺跡は、高梁川の河川敷に所在する弥生時代から中世にかけての複合遺跡である。4・5月は笠井堰から南約400mの地点に設定したR5-4・5・7・8区の4か所の調査を、10月から令和6年3月までは笠井堰南側の中州北端に位置する3・4区の調査を行った。

調査の概要

R5-4・5・7・8区では、全ての調査区で遺構及び遺物を検出した。特に北東部に設置したR5-5区では古墳時代以前や平安時代、室町時代の土坑や柱穴を多く確認し、各時代の集落がR5-5区の周辺から南方にかけて広がっていると想定される。



調査位置図 (50,000)



調査地遠景 (南西上空から)



R5-8区全景 (南から)



3・4区全景 (西上空から)



古墳時代中期の方墳 (南西から)

第4章 調査の概要

3・4区の今年度の調査では、弥生時代から江戸時代にかけての多くの遺構や様々な遺物を確認した。以下、時期別に整理しておく。

弥生時代の遺構としては、弥生時代中期の被熱土坑や溝、弥生時代後期の溝を検出した。古墳時代では、箱式石棺を主体部とする、一辺約10mの方墳を1基確認した。箱式石棺内は遺存状態が比較的良好で、人骨のほか副葬品として鹿角装大刀、曲刃鎌、鉄鏃、須恵器杯、土師器壺が出土した。時期は出土遺物から古墳時代中期末と考えられる。また、古墳時代後期の鍛冶炉や炭窯と考えられる被熱土坑を確認したほか、同時期のたわみからは鍛冶炉との関係が推定される羽口や鉄製品、鉄滓、さらに製塩土器や土錘、ガラス小玉、スッポンの骨など様々な遺物が出土した。

奈良時代では、調査区の東端で、昨年度に調査を行った1区から続く溝を確認している。鎌倉時代では、井戸を1基確認している。井戸は方形の石組みを持ち、その内部から土師器小皿・杯がまとまって見つかったことから、井戸の廃止に伴う祭祀が行われた可能性がある。室町時代では、掘立柱建物2棟及び柱穴列2列、円形の石組みを持つ井戸1基を検出した。

江戸時代以降では、調査区東半部で「天地返し」と呼ばれる洪水砂で埋没した田圃を復旧した痕跡が認められた。

酒津遺跡は、これまで本格的な発掘調査が行われておらず、遺跡の具体的な様相については不明な点が多かった。今回の調査で、最も古い時期の遺構は弥生時代中期に遡ること、古墳時代中期末の方墳が存在したこと、古墳時代後期には鉄器生産をはじめとする生産活動が行われていたこと、鎌倉時代から室町時代にかけて集落が営まれていたことなどが明らかになった。(物部・石田・氏平・岡本)



方墳の箱式石棺（北西から）



古墳時代後期のたわみ（南西から）



奈良時代の溝（南西から）



鎌倉時代の井戸（北から）

(2) 一般国道53号(津山南道路)改築工事に伴う発掘調査

たかおみやのまえ
高尾宮ノ前遺跡

所在地：津山市高尾1284ほか

調査期間：令和5年4月3日～令和6年3月29日

担当者：小林利晴・藤井雄一・阿部誠悟

調査面積：2,880㎡

調査の経過

一般国道53号(津山南道路)改築工事に伴い令和3年度から発掘調査を実施しており、今年度は昨年度調査区(2区)西側の3区-1・4・5と東側の3区-2・3及び北側の4区の合計2,880㎡の範囲で調査を行った。

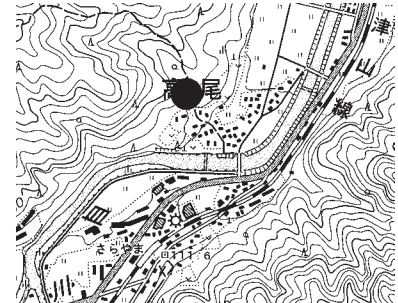
調査の概要

今年度の調査対象地において弥生時代中期の土坑や溝、古墳時代後期～終末期の古墳や土坑墓、段状遺構、中世の土坑や溝、柱穴、各時期のたわみなどを確認した。遺物は弥生時代から古墳時代及び中世の土器・陶磁器の他、瓦、石器、金属製品、鉄滓などが認められた。

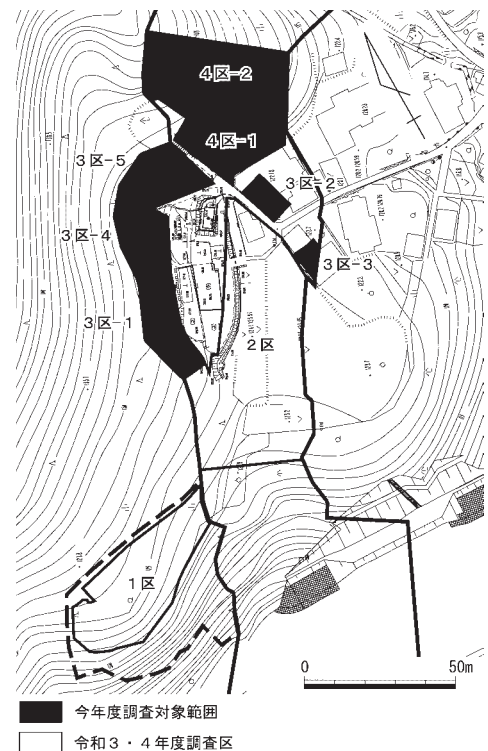
3区-1・4・5は嵯峨山南東端の丘陵斜面に位置し、調査地中央から南にかけては南東方向に緩やかに下る舌状の地形を呈している。弥生時代中期の土坑1基、古墳時代後期の古墳1基と段状遺構1面、中世以降の溝や土坑などを確認した。そのうち古墳は埋葬施設が竪穴式石室で、副葬品として須恵器の杯蓋と刀子が見つかった。墳丘盛土は大部分が流出していたが、石室北東側には周溝が掘られており、直径9.8m程度の円墳であったと考えられる。調査地北側は谷部となっており、遺構密度は希薄だが、弥生時代中期の溝1条やたわみを確認した。

3区-2・3は現代の地形改変を大きく受けていたため、弥生時代中期～後期の地形の下がり1か所と中世以降の柱穴を確認するに留まった。

4区は嵯峨山南東端の南へ延びる尾根の斜面上に位置する。調査地北側では広範囲にわたって現代の植林に伴う造成の影響を受けていたが、尾根頂部付近の斜面上方から中央にかけて、古墳時代後期の古墳1基と土坑墓2基、古墳時代終末期の古墳1基が見つかった。なかでも古墳時代終末期の古墳は、斜面傾斜のきつい場所に位置し、南向きに開口する横穴式石室をもつ。古墳の斜面上部には周溝が掘られ、その範囲から直径約6mの円墳であったと推定される。石室の内法規模は、長さ約175cm、最大幅約48cm、約45cmを測り、岡山県下でも最小級の横穴式石室といえる。石室内からの出土遺物はないが、石室左側壁付近から耳環が出土し、また周溝からは須恵器の短頸壺が出土した。終末期に築かれた単葬墓であり、注目される。傾斜が緩くなる場所に位置するのは、埋葬施設が竪穴式石室の円墳で



調査位置図 (1/25,000)



調査地周辺図 (1/2,500)

第4章 調査の概要

あり、推定直径は約7mである。古墳の北西側には周溝が掘られる。石室内から須恵器片が出土し、時期は古墳時代後期と考えられる。その他、調査地斜面下方部は遺構密度が希薄であり、目立った遺構は認められなかった。(藤井)



3区 古墳時代後期の竪穴式石室 (南西から)



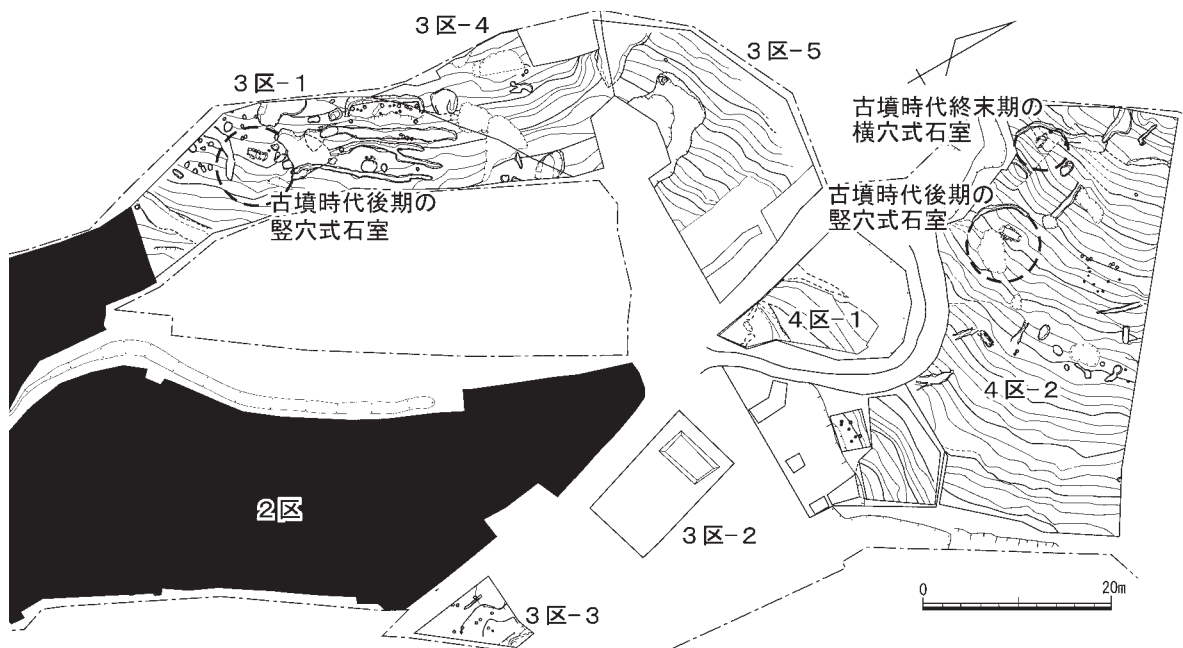
3区 古墳時代後期の段状遺構 (南西から)



4区 古墳時代終末期の横穴式石室 (南西から)



4区 古墳時代後期の竪穴式石室 (東から)



調遺構全体図 (1/800)

(3) 広域河川改修事業（千田川）に伴う発掘調査

向山遺跡

所在地：瀬戸内市長船町飯井 2183-1

調査期間：令和5年6月1日～7月31日

担当者：氏平昭則・杉浦香菜子

調査面積：420㎡

調査の経過

向山遺跡は、東から西へ流れる千田川に向かって南に張り出す丘陵上に位置する。今回の調査対象範囲は、周知の向山遺跡の範囲の南部で、丘陵が千田川と接する部分にあたる。昨年度の確認調査で遺構の存在が考えられた範囲で調査を実施した。

調査の概要

調査区の北端は現代の水田で削平されていたが、その他の部分で弥生時代前期の窪地、鎌倉時代～室町時代の水田層と溝1条などを確認した。

調査区の東側は南東へ向かって基盤層が緩やかに下がる低位部で、平安時代末までの砂層を主体とした包含層が堆積し、その上層は室町時代までには水田層になっていた。包含層・水田層からは大量の須恵器・土師器が出土した。また、包含層の北端で水田に伴う可能性が高い溝1条を検出した。

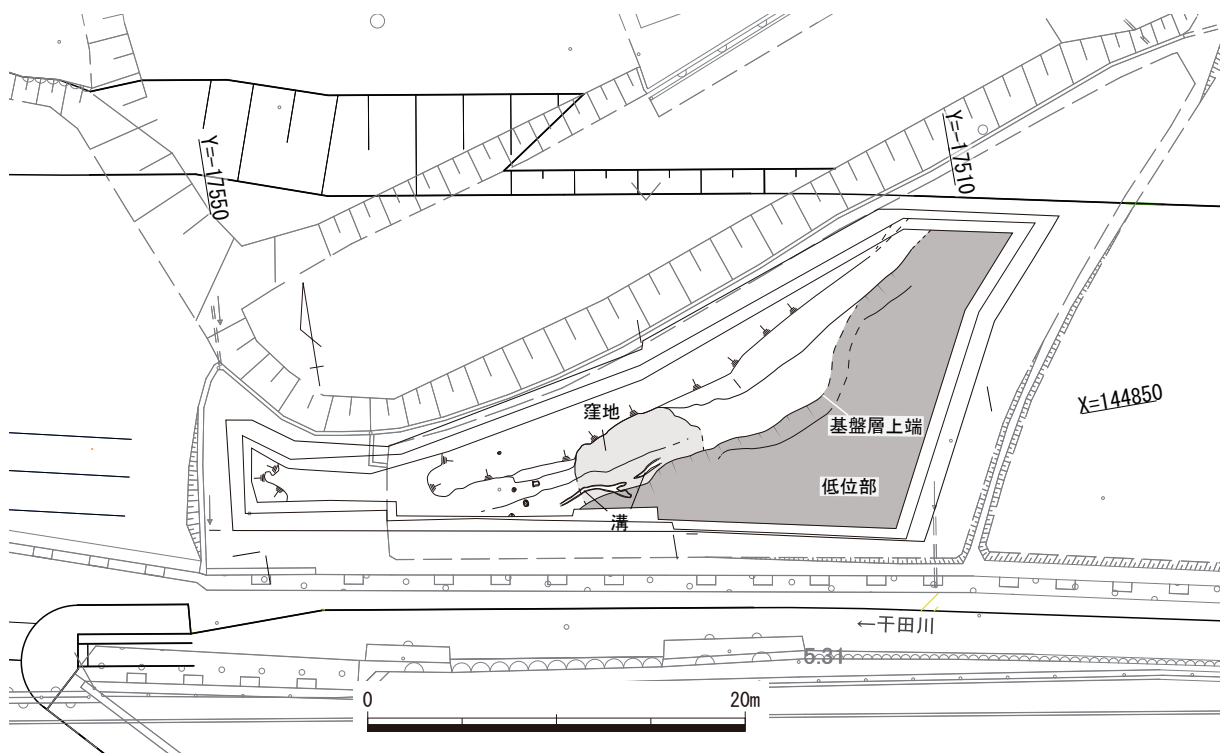
基盤層上面では、調査区の中央部で窪地1か所が存在した。埋土は黒色シルトで、弥生時代前期の土器とサヌカイト片を含んでいた。その他に、窪地の西側で時期不明のピットを5個検出した。

調査区の西端も現代の攪乱によって基盤層が深く掘削されていて、遺構は残っていない。

低位部で弥生時代から室町時代の遺物が多数出土したことから、調査区北側の丘陵部にそのような幅広い時代の集落の存在が想定される。(氏平)



調査位置図 (1/25,000)



遺構配置図 (1/400)

(4) 一般国道374号(美作岡山道路)改築工事に伴う発掘調査

宮坂遺跡

所在地：美作市位田 714-2 ほか

調査期間：令和5年8月1日～10月31日

担当者：岡本泰典・氏平昭則・森本 蓮

調査面積：1,302㎡

調査の経過

一般国道374号(美作岡山道路)改築工事に伴い、令和4年度に対象地内の確認調査を実施した結果、一部のトレンチから若干のピットや土坑が検出され、少量の須恵器・土器器片などが出土した。これを受けて、令和5年8月から発掘調査を実施した。



調査位置図 (1/25,000)

調査の概要

宮坂遺跡は、吉野川西岸の低丘陵上に所在し、北東方向に延びる尾根筋から東向き斜面にかけて立地する遺跡である。

調査の結果、弥生時代後期から江戸時代以降にいたるまでの各種の遺構が検出された。遺構密度は希薄であり、後世の地形改変の影響を考慮しても、もともと遺構は少なかった可能性が高い。

弥生時代後期の遺構は、竪穴住居1軒、掘立柱建物1棟、土坑2基、土器だまり1か所である。竪穴住居は北向き尾根筋上に立地し、最大径約5.9mの円形で、支柱穴4本と中央穴を有し、中央穴から外部へと延びる溝を伴っていた。床面から後期後半の土器及び石器(石包丁・石錘・砥石)が出土した。また住居内からは焼土や炭化材も検出されたことから、焼失住居と考えられる。掘立柱建物は、出土遺物がないため時期の確証はないが、1間×2間分が残存し、桁行は約2.5mである。以上の成果から、この時期には小規模な集落の存在が想定できる。

古墳時代後期の遺構としては、土坑墓1基のみが検出された。全長約2.2m、幅約0.8m、深さ約0.4mを測る長方形で、床面から副葬品として鉄器1点が出土したほか、検出面付近から須恵器の杯身1点が出土している。

上記以外に、調査区内の各所で溝・くぼみ・段などを確認しているが、これらは江戸時代から近現代にかけての耕作や地形改変に伴うものと考えられる。

さらに、調査区の南側にトレンチ4本を設定して調査を行ったが、遺構・遺物は確認されず、遺跡は南側には広がらないものと結論づけた。(岡本)



弥生時代後期の竪穴住居 (南東から)



古墳時代後期の土坑墓 (南東から)

第3節 「吉備路の歴史遺産」魅力発信事業

史跡備中国分尼寺跡ほか保存活用総合調査

担 当 者：松尾佳子・藤井雅大・平野友梨・瀬戸悠輔

1 事業の経緯

総社市南東部から岡山市西部一帯にある「吉備路風土記の丘」には、全国的に著名な史跡が数多く分布する。備中国分尼寺跡は、天平 13 (741) 年に聖武天皇の詔により建立された国分二寺の 1 つで、大正 11 (1922) 年国史跡に指定されている。

古代吉備文化財センターは、「吉備路の歴史遺産」魅力発信事業として、備中国分寺跡及び備中国分尼寺跡の過去の発掘調査成果の再整理を含めた総合調査を令和 5 年度から開始した。

令和 5 年度は、史跡の保護・保存の指針となる保存活用計画の策定、史跡整備等を実施するための情報を得ることを目的とした、史跡備中国分尼寺跡の伽藍地内の発掘調査及び報告書作成を行い、それらの成果を周知するために公開活用事業を実施した。

2 事業の概要

発掘調査

史跡備中国分尼寺跡は、昭和 46 (1971) 年度に南門南側で発掘調査を実施しているものの、伽藍地内の調査は未実施であった。令和 5 年度は、南門・中門・講堂・回廊・南辺と北辺の築地跡について、それぞれの規模と構造を明らかにするため、また昭和 46 (1971) 年度に南門南側で確認した古代山陽道遺構についての再検証を目的に発掘調査を実施した。調査は令和 5 年 10 月 2 日から令和 6 年 2 月 29 日まで行い、調査面積は 265 m²である。

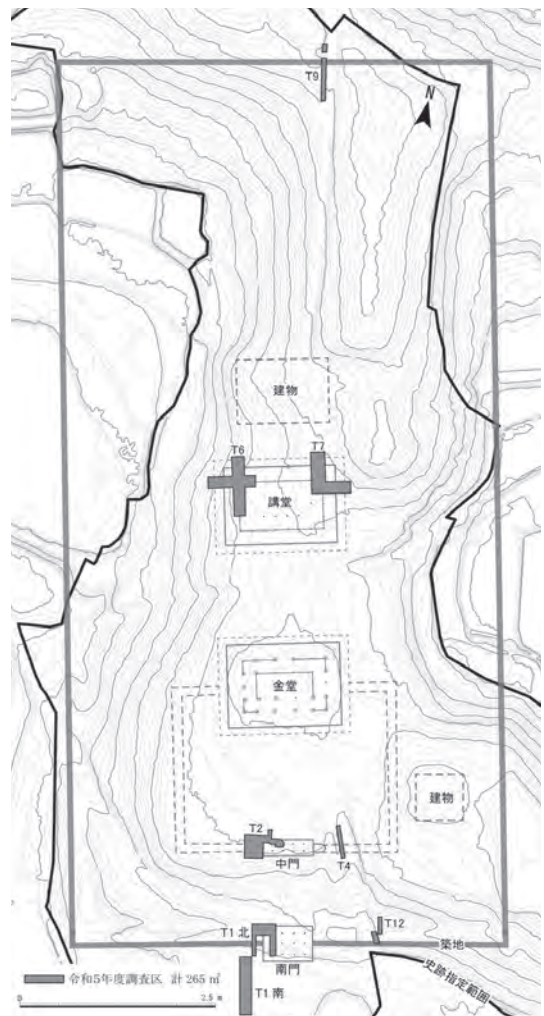
その結果、南門、中門、講堂、南辺築地については、



南門調査区 (北から)



調査位置図 (1/25,000)



備中国分尼寺跡調査区配置図 (1/2,000)

第4章 調査の概要

規模と構造の一端を明らかにすることができた。しかし、南門南側における古代山陽道遺構については、果樹園による開墾等の影響が大きく、過去の調査成果を補完し得る情報を得ることができなかった。また、北辺築地や回廊については明確な遺構が認められず、伽藍地北限や金堂院を囲繞する施設の有無については、今後の課題として残る。

報告書作成

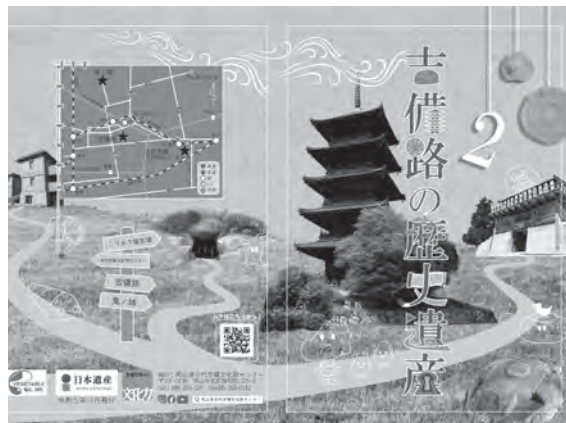
昭和46(1971)年度、備中国分寺跡及び備中国分尼寺跡の調査出土遺物についての再整理及び令和5年度調査出土遺物整理を実施した。また、関連調査として全国の国分二寺との比較研究、関連瓦の調査を行った。

公開活用事業

総社市と連携し、11月5日開催の「そうじゃ吉備路ウォーキング大会」で、ウォーキング中の参加者(410名)に史跡備中国分尼寺跡の説明を行った。「吉備路風土記の丘」に所在する歴史遺産の魅力について分かりやすく伝えるため、パンフレット『吉備路の歴史遺産2』を刊行し、12月2日開催の吉備路ウォーク(参加者34名)時に配付、あわせて観光案内所等に配架した。発掘調査の成果は1月27日に現地説明会、続く1月29日～2月2日の5日間に現地公開を開催し、計404名の参加を得た。また、発掘調査実施時に随時見学対応を行ったところ、5か月で557名の来跡があり、調査への関心の高さが伺える。また、発掘調査に伴って出土する奈良時代の瓦について、古代の製作技術復元に挑戦する動画『復元！古代瓦』を配信した。この取り組みは、古代寺院を考えるうえで重要な資料である瓦について、まずは興味をもってもらう第一歩として、更に知識を深めるために利用してもらうことを目的としている。(松尾)



動画『復元！古代瓦』はこちらから



パンフレット『吉備路の歴史遺産2』



吉備路ウォークの様子



現地説明会の様子

岡山県古代吉備文化財センター年報3
＜ 令和5年度 ＞

令和6年10月11日 印刷
令和6年10月18日 刊行

発行 岡山県古代吉備文化財センター
岡山市北区西花尻 1325-3
TEL 086-293-3211

印刷 サンコー印刷株式会社
岡山県総社市駅南 1-1-5

